

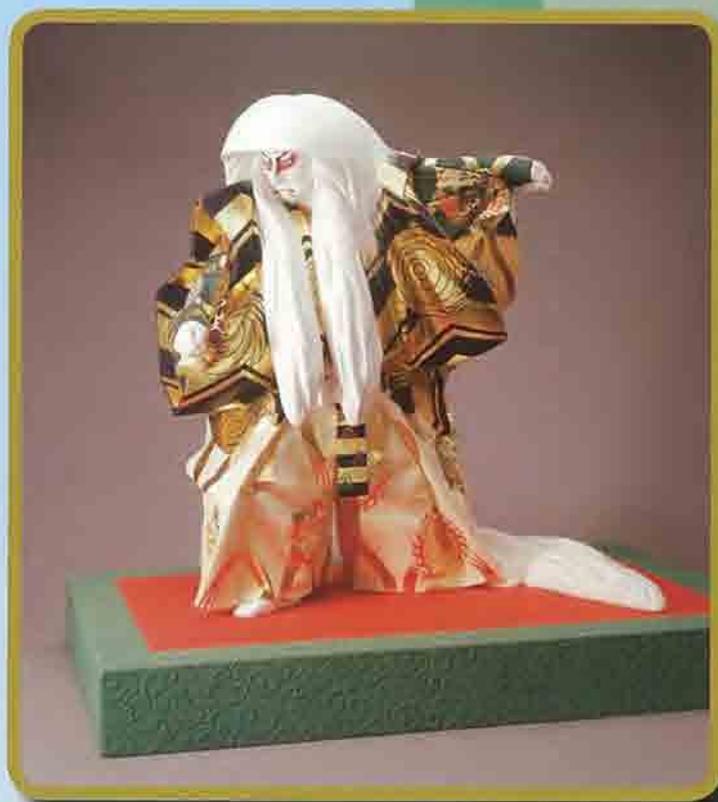
平成26年度 小平市 わかりやすい予算

平櫛田中彫刻美術館開館30周年

「鏡獅子」(かがみじし)

平櫛田中作

22年の歳月をかけて完成させた代表作
(国立劇場展覧)を4分の1のスケールに
した作品です。



主要事業・予算概要説明書

はじめに

全国的には少子高齢化が進展しておりますが、小平市におきましては、人口は微増の状況であります。しかしながら、人口の構成として中間の年齢層である生産年齢人口が減少する傾向にあることから、近い将来、人口減少に転ずることは確実な状況であります。

そうした中で、将来に向けて成長力や活力を高めていくことが、今後の重要な課題となりますが、そのためには、まず、若い世代にとって住みやすいまち、長く住み続けたいまちを実現することが、市制施行50周年を経た次の50年へ向けたテーマの一つであると考えております。

したがって、子育て支援、特に、保育園待機児童の解消を図ることは、大きな課題であると考えております。また、安全・安心なまちを実現することも、大きな課題です。さらに、都市基盤の整備も、都市の機能を維持し高めていくために欠くことができないものであります。

このような課題の解決を図っていくことが、若い世代のみならず、誰もが住みやすく、住み続けたいまちにつながるものと考えております。

しかし、これらの課題に対応していくためには、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠であることは言うまでもありません。

私は、職員に日頃から失敗を恐れず、果敢に仕事に取り組むように言っておりますが、市民の皆様に対しても、丁寧な対応を心掛けるとともに、常に前向きにチャレンジする姿勢で臨むことにより、ご理解やご協力を得ることができるものと考えております。

なお、この「わかりやすい予算」は、平成26年度の主な事業をできるだけわかりやすく説明するとともに、小平市の財政事情を理解していただくために作成いたしました。

今後も、よりいっそうわかりやすい行政運営に努めてまいりますので、引き続きご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

小平市長 小林 正 則

目次

| | | |
|----|--|----|
| 第1 | 予算の編成にあたって | 1 |
| 第2 | 財政規模 | 1 |
| 第3 | 平成26年度の主な事業の一覧 | 2 |
| 第4 | 主な事業の説明 | 4 |
| 1 | 安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして (地域・安全・生活・文化) | 4 |
| 2 | 快適で、ほんわかとするまちをめざして (緑・水・環境) | 11 |
| 3 | 健康で、はつらつとしたまちをめざして (次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習) | 18 |
| 4 | 住みやすく、希望のあるまちをめざして (都市基盤・交通・産業) | 28 |
| 5 | 健全で、進化するまちをめざして (地方自治・行財政) | 36 |
| | 参考資料 | 38 |
| | 一般会計予算について | 39 |
| 1 | 予算のポイント | 39 |
| 2 | 歳入予算について | 40 |
| 3 | 歳出予算について | 42 |
| 4 | 小平市の財政状況 | 46 |
| | 特別会計予算について | 52 |
| | 市役所の組織と連絡先 | 56 |

第1 予算の編成にあたって

平成26年度の予算編成は、将来にわたり施策展開を支えることができるよう財政基盤の強化に努めながら、選択と集中により必要な施策には積極的に投資することで、市民の安心安全を守るとともに、明るい未来を次世代に引き継げるよう、将来に向けて成長や活力の創出を図れるような事業の展開に取り組む予算として編成いたしました。

第2 財政規模

平成26年度の一般会計予算規模は、591億7,800万円で、対前年度比較で2.4%の増となりました。

また、一般会計に4つの特別会計をあわせた総予算額は、964億7,400万円で、前年度と比較して2.4%の増となりました。

平成26年度当初予算額

| 区 分 | 平成26年度 | 平成25年度 | 対前年度比較 | |
|--------------|-------------|---------------|------------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 (%) |
| 一 般 会 計 | 591億7,800万円 | ※ 577億7,949万円 | 13億9,851万円 | 2.4 |
| 国民健康保険事業特別会計 | 177億3,900万円 | 176億7,600万円 | 6,300万円 | 0.4 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 37億900万円 | 34億5,400万円 | 2億5,500万円 | 7.4 |
| 介護保険事業特別会計 | 117億8,000万円 | 109億7,200万円 | 8億800万円 | 7.4 |
| 下水道事業特別会計 | 40億6,800万円 | 42億9,300万円 | △2億2,500万円 | △5.2 |
| 合 計 | 964億7,400万円 | 941億7,449万円 | 22億9,951万円 | 2.4 |

※ 一般会計の平成25年度予算額は、当初予算に補正予算（第1号及び第2号）を加えた額

第3 平成26年度の主な事業の一覧

～5つの施策の体系に基づいて事業を展開します～

| | | |
|---|--|-----|
| 1 | 安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして —地域・安全・生活・文化— | ページ |
| | 地域自治推進への支援 | 4 |
| | 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の推進 | 4 |
| | 避難所へのマンホールトイレの整備 | 5 |
| | 防災行政無線（固定系）の改修 | 5 |
| | デジタル移動系防災行政無線ファックスの設置 | 6 |
| | 震災対策用井戸への発電機の充実 | 6 |
| | 災害対策用飲料水槽の全面改修 | 6 |
| | 災害時医療体制の充実 | 7 |
| | 被災者用備蓄の整備 | 7 |
| | 消防団防火衣の切り替え | 8 |
| | 防火水槽の設置 | 8 |
| | 市民文化会館の施設整備 | 9 |
| | 市史編さん事業の推進 | 9 |
| | 鈴木遺跡国指定史跡化の推進 | 10 |
| | 国指定名勝「小金井桜」の復活 | 10 |
| | ☆ その他の事業 | 10 |
| 2 | 快適で、ほんわかとするまちをめざして —緑・水・環境— | ページ |
| | 緑の保護と緑化の推進 | 11 |
| | 花のある公共施設づくりの実施 | 11 |
| | 魅力ある公園づくりの推進 | 12 |
| | 用水路親水整備事業の実施 | 12 |
| | 公共下水道長寿命化対策の推進 | 13 |
| | 公共下水道雨水整備の推進 | 13 |
| | 避難所へのマンホールトイレの整備【再掲】 | 13 |
| | 太陽光発電日本一への推進 | 14 |
| | 公共施設の高効率照明化の推進 | 15 |
| | 高効率照明化への補助の実施 | 15 |
| | 市民版環境配慮指針の見直し | 16 |
| | 資源化品目の拡大によるリサイクルの推進 | 16 |
| | 食物資源循環モデル事業の実施 | 17 |
| | ☆ その他の事業 | 17 |
| 3 | 健康で、はつらつとしたまちをめざして —次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習— | ページ |
| | 子ども・子育て支援事業計画の策定 | 18 |
| | 指定管理者による学童クラブの運営 | 18 |
| | 認可保育園（私立保育園）の新設 | 18 |
| | 認証保育所の認可保育所への移行 | 19 |
| | 私立保育園の園舎整備への補助 | 19 |
| | 小川西保育園の建替え | 19 |
| | 定期利用保育事業の実施 | 20 |
| | ☆ その他の事業（次世代育成） | 20 |

| | |
|-----------------------------|------------|
| がん検診受診率向上対策事業の実施 | 20 |
| 骨粗しょう症検診の実施 | 20 |
| 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定 | 21 |
| 社会貢献型後見人（市民後見人）養成事業 | 21 |
| 高齢者見守りサポーター養成研修の実施 | 21 |
| 障がい者福祉計画・障害福祉計画の策定 | 21 |
| 障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援 | 22 |
| ☆ その他の事業（健康福祉） | 22 |
| 学校施設の整備【一部再掲】 | 23 |
| 学校体育館の防災機能強化 | 23 |
| 小学校給食調理業務の委託化 | 24 |
| アレルギー研修の実施 | 24 |
| スクールソーシャルワーカーの配置の拡充 | 24 |
| 特別支援教育の充実 | 24 |
| コミュニティ・スクールの推進 | 25 |
| 非核平和事業の実施 | 25 |
| 放課後子ども教室の拡充 | 25 |
| 中央公園競技場の整備（第四種公認更新） | 26 |
| 市民総合体育館への指定管理者制度の導入 | 26 |
| 仲町公民館・仲町図書館の整備【一部再掲】 | 27 |
| ☆ その他の事業（教育・生涯学習） | 27 |
| 4 住みやすく、希望のあるまちをめざして | |
| —都市基盤・交通・産業— | ページ |
| 都市計画マスタープランの改定 | 28 |
| （仮称）まちづくりにおける風致地区の基本的考え方の策定 | 28 |
| 小川駅西口地区再開発事業の推進 | 29 |
| 小平駅北口地区再開発事業の推進 | 29 |
| 小平都市計画道路3・4・23号線の整備 | 30 |
| 都市計画道路整備の推進 | 30 |
| 市内公共交通の充実 | 30 |
| 道路整備事業の充実 | 31 |
| 道路ストック（道路・案内標識）の総点検 | 31 |
| 官民境界等先行調査の実施 | 33 |
| 商業振興事業の実施 | 33 |
| 市内店舗リフォーム補助の実施 | 34 |
| 観光まちづくりの推進 | 34 |
| 農業振興事業の実施 | 35 |
| ☆ その他の事業 | 35 |
| 5 健全で、進化するまちをめざして | |
| —地方自治・行財政— | ページ |
| 電子自治体の推進 | 36 |
| ICT業務継続計画の策定 | 36 |
| 公共施設マネジメントの推進 | 37 |

第4 主な事業の説明

1 安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして —地域・安全・生活・文化—

安全で安心して過ごすことができ、みんながいきいきとしているまち、だれもが充実した生活を送るとともに、文化や芸術が豊かな誇り高い自信に満ちたまちの実現をめざします。

◆地域自治推進への支援 24万円

担当：地域文化課

平成26年度小平市一般会計予算書掲載ページ： 72

(以下予算書掲載ページ)

地域自治を推進させるため、地域の様々な団体・組織が横の連携を緊密にし、地域の課題の共有や解決に向けた自主的・自立的な取り組みに対する支援を行います。

| | |
|-------------|------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●講師等謝礼 | 6万円 |
| ●連絡会だより配布委託 | 18万円 |

| | |
|----------|------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 24万円 |

◆特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の推進 1億4,160万円

担当：防災安全課

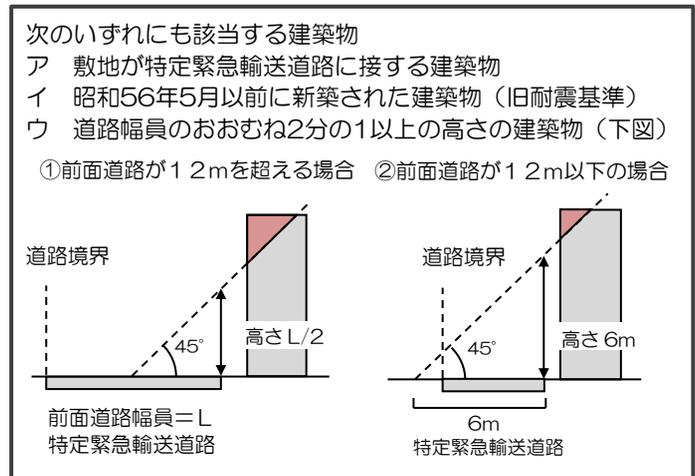
予算書掲載ページ： 64

市内の特定緊急輸送道路の沿道建築物について耐震診断、並びに耐震診断の結果、必要な補強設計及び耐震改修に係る費用の助成を行い、耐震化の促進を図ります。

災害時に建築物が緊急輸送道路に倒壊することを防ぐことにより、避難、救急、消火活動や輸送を円滑にします。

| | |
|-------------|-----------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●耐震診断補助 | 260万円 |
| ●補強設計補助 | 900万円 |
| ●耐震改修補助 | 1億3,000万円 |

| | |
|----------|---------|
| 財源内訳 | |
| ■国の負担額 | 5,690万円 |
| ■都の負担額 | 5,690万円 |
| ■小平市の負担額 | 2,780万円 |



対象となる特定緊急輸送道路沿道建築物の条件

◆避難所へのマンホールトイレの整備

9,987万円

担当：下水道課

平成26年度小平市下水道事業特別会計予算書掲載ページ： 18

小平市地域防災計画及び小平市下水道総合地震対策計画に基づき、災害時のトイレ機能を確保するため、管きょやマンホールの耐震化が完了した避難所となる小学校・中学校4か所にマンホールトイレを整備します。また、今後整備予定の避難所40か所の調査や設計を行います。

予算の内訳（使いみち）

- | | |
|---------------|---------|
| ●耐震調査・診断、実施設計 | 5,987万円 |
| ●マンホールトイレ設置工事 | 4,000万円 |

財源内訳

- | | |
|----------|---------|
| ■国の負担額 | 4,040万円 |
| ■都の負担額 | 202万円 |
| ■小平市の負担額 | 5,745万円 |



市役所敷地内に設置したマンホールトイレ

◆防災行政無線（固定系）の改修

6,358万3千円

担当：防災安全課

予算書掲載ページ： 66

固定系の防災行政無線について、子局の新設を10か所、移設を2か所行うことにより、音声空白地域の解消を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- | | |
|---------------|---------|
| ●設置工事 | 5,500万円 |
| ●設計委託 | 848万3千円 |
| ●環境保全計画策定業務委託 | 10万円 |

財源内訳

- | | |
|----------|-----------|
| ■小平市の負担額 | 6,358万3千円 |
| （うち市の借金 | 5,500万円） |



防災行政無線の子局

◆デジタル移動系防災行政無線ファックスの設置

1,026万円

担当：防災安全課

予算書掲載ページ： 66

避難所での情報連絡体制を整えるため、情報伝達の多様性・情報の正確性の観点から、無線ファックスを小学校10校に設置します。

災害時にも通話以外の通信手段が確保されます。また、デジタル化することで、より確実に情報が伝達されます。

予算の内訳（使いみち）

●防災行政無線ファックス購入 1,026万円

財源内訳

■小平市の負担額 1,026万円



デジタル移動系防災行政無線ファックス

◆震災対策用井戸への発電機の充実

239万8千円

担当：防災安全課

予算書掲載ページ： 66

平成25年度に指定された井戸を含む、市内81ヶ所すべての震災対策用井戸が停電時にも使用できるよう、発電機を設置します。平成26年度は12か所に設置し、災害時の応急飲料水を確保します。

予算の内訳（使いみち）

●発電機の購入 239万8千円

財源内訳

■小平市の負担額 239万8千円



震災対策用井戸に貸与される発電機

◆災害対策用飲料水槽の全面改修

1,870万円

担当：教育庶務課

予算書掲載ページ： 240

災害時における安全で安定した給水を実現し、市民の生命・健康の維持に寄与するため、老朽化の進んだ七小の災害対策用飲料貯水槽の全面改修をします。

予算の内訳（使いみち）

●改修工事 1,870万円

財源内訳

■小平市の負担額 1,870万円

◆災害時医療体制の充実

406万9千円

担当：防災安全課

予算書掲載ページ： 66

災害時に傷病者を程度別に振り分けるトリアージポイントを設置するための資機材の整備や、助産のための資機材を購入することにより、災害時の医療体制の充実を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- トリアージポイント資機材整備 390万円
- 災害用助産資機材購入 16万9千円

財源内訳

- 都の負担額 77万9千円
- 小平市の負担額 329万円



トリアージポイントによる傷病者の振り分け

◆被災者用備蓄の整備

5,500万円

担当：防災安全課

予算書掲載ページ： 66

災害時の応急対策として、避難者等に配布する食料や、避難所の運営に必要な間仕切りなどの資機材を備蓄します。

予算の内訳（使いみち）

- 備蓄品購入費 5,500万円

財源内訳

- 都の負担額 1,850万円
(市町村総合交付金)
- 小平市の負担額 3,650万円



避難者に配布される食料

◆消防団防火衣の切り替え

420万8千円

担当：防災安全課

予算書掲載ページ： 224

消防団員の硬くて動きにくいアルミックス製の防火衣から、耐炎性、耐熱性、高い運動機能性、快適性に優れた新型の防火衣に切り替えます。

団員の安全性の向上と、災害現場での迅速で的確な活動を図ることができます。

予算の内訳（使いみち）

●防火衣の購入

420万8千円

財源内訳

■小平市の負担額

420万8千円



より安全となった防火衣

◆防火水槽の設置

1,325万4千円

担当：防災安全課

予算書掲載ページ： 224

東京消防庁の水利整備基準に準じ整備を進めるもので、平成26年度は40立方メートル級の防火水槽を、小川町区画整理記念公園内に1基設置します。

予算の内訳（使いみち）

●防火水槽の設置工事

1,325万4千円

財源内訳

■小平市の負担額

1,325万4千円



市内に設置された防火水槽

◆市民文化会館の施設整備

担当：地域文化課

9,850万円

予算書掲載ページ： 74

築20年が経過した市民文化会館（ルネこだいら）の利用環境を向上させるため、施設整備工事を行います。中ホールの照明負荷設備及び調光操作卓の改修を行います。

予算の内訳（使いみち）

- | | |
|-----------------|---------|
| ●中ホール調光操作卓改修工事 | 3,672万円 |
| ●中ホール照明負荷設備改修工事 | 6,178万円 |

財源内訳

- | | |
|----------------------|---------|
| ■都の負担額 （市町村総合交付金） | 6,890万円 |
| ■小平市の負担額 | 2,960万円 |



ルネこだいら中ホール

◆市史編さん事業の推進

担当：企画政策部（市史編さん）

872万円

予算書掲載ページ： 60

事業最終年度にあたる平成26年度は、小平市史の概要版を刊行します。
市史をまとめ、関係資料を保存することにより、市民共通の財産になるとともに、小平の歴史や文化を知るための重要な資料として活用します。

予算の内訳（使いみち）

- | | |
|-------------|---------|
| ●臨時職員賃金 | 326万7千円 |
| ●市史概要版印刷製本費 | 500万円 |
| ●消耗品費、旅費等 | 45万3千円 |

財源内訳

- | | |
|----------|---------|
| ■図書販売収入 | 33万7千円 |
| ■小平市の負担額 | 838万3千円 |



市史編さんに関する書物

◆鈴木遺跡国指定史跡化の推進

1,130万円

担当：生涯学習推進課

予算書掲載ページ：270、272

鈴木遺跡の国指定史跡を目指し、遺跡総括報告書の作成、遺物が濃密に包蔵されている範囲、線引きを確認するための遺跡範囲確認調査を行うほか、地域の盛り上がり、連携を図るための展示会やシンポジウムを開催します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|---------------------|-------|
| ●遺跡範囲確認調査委託・消耗品 | 800万円 |
| ●遺跡総括報告書作成委託 | 270万円 |
| ●遺跡総括報告書作成事業委員謝礼等 | 30万円 |
| ●遺跡周知（謝礼・消耗品・印刷製本費） | 30万円 |



遺跡ウォークの様子

| 財源内訳 | |
|----------|-------|
| ■国の負担額 | 550万円 |
| ■都の負担額 | 275万円 |
| ■小平市の負担額 | 305万円 |

◆国指定名勝「小金井桜」の復活

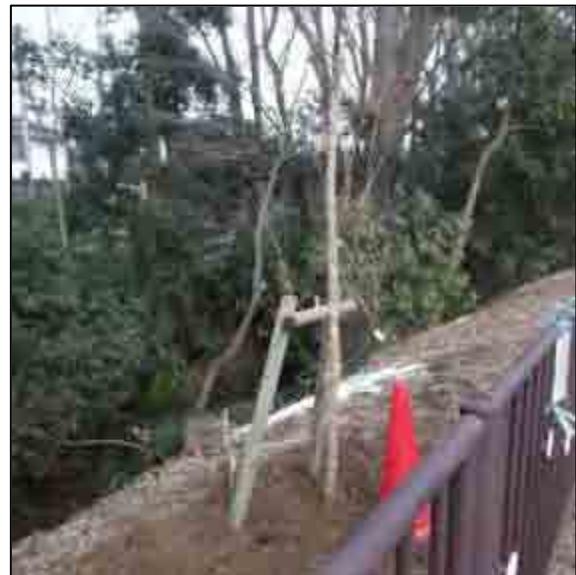
56万2千円

担当：生涯学習推進課

予算書掲載ページ：272

国指定名勝「小金井桜」は、生育環境の悪化等に伴う枯れ木が増加しています。桜並木の美観の回復を目指し、東京都教育庁、水道局、関係市で構成する連絡協議会が立ち上がり、桜の補植を進めていきます。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------|--------|
| ●桜の苗木 | 56万2千円 |



小金井市で試行実施された補植

| 財源内訳 | |
|----------|--------|
| ■小平市の負担額 | 56万2千円 |

☆その他の事業

| | |
|---|-------------|
| ◆議会経費 | 4億7,440万6千円 |
| ◆地域センター19館維持管理経費 （嘱託職員報酬、光熱水費、施設管理委託料など） | 2億3,947万8千円 |
| ◆消防団関係運営経費（消防団員報酬、出動手当など） | 8,372万2千円 |

2 快適で、ほんわかとするまちをめざして — 緑・水・環境 —

緑が豊かな武蔵野の自然に囲まれ、環境にやさしいまち、だれもが安らぎ快適な生活を送るとともに、地球環境に配慮した賢いまちの実現をめざします。

◆緑の保護と緑化の推進

担当：水と緑と公園課

1,647万2千円

予算書掲載ページ：216

「こだいら名木百選」に選ばれた名木に対して、剪定費の補助を行います。森のカルテづくりでは、引き続き雑木林調査隊による保存樹林の調査を行います。

新しい事業として、イベントでのみどりの相談所の設置、市民による身近なビオトープづくりを支援するためのリーフレットの作成を行います。

また、保存樹林等の更新により、良好な緑環境や住環境の創出を図ります。

予算の内訳（使いみち）

| | |
|----------------------|-----------|
| ●こだいら名木百選 | 120万円 |
| ●森のカルテづくり | 17万6千円 |
| ●みどりの相談員謝礼 | 6万円 |
| ●身近なビオトープづくりリーフレット作成 | 340万2千円 |
| ●保存樹林の健全化事業 | 1,163万4千円 |

財源内訳

| | |
|----------|-----------|
| ■小平市の負担額 | 1,647万2千円 |
|----------|-----------|



上水新町一丁目の保存樹林

◆花のある公共施設づくりの実施

担当：保育課、学務課、図書館、みちづくり課、水と緑と公園課

603万8千円

予算書掲載ページ：138、202、
204、242
250、288

平成24年度に実施した「全日本花いっぱい小平大会」を契機とした市民ボランティアなどによる市内公共施設への花植えを引き続き実施し、花と緑あふれるまちづくりを推進します。

予算の内訳（使いみち）

| | |
|----------------|---------|
| ●市立保育園 | 56万2千円 |
| ●小・中学校 | 81万円 |
| ●図書館（1館） | 7万8千円 |
| ●小平駅前広場花壇 | 457万5千円 |
| ●小川用水（上宿公民館北側） | 1万3千円 |

財源内訳

| | |
|----------|---------|
| ■小平市の負担額 | 603万8千円 |
|----------|---------|



小平駅前広場花壇でのボランティアによる花植え

◆魅力ある公園づくりの推進

2,300万円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ：216

あかしあ通りグリーンロード化基本計画に基づき、仲町第2公園を2か年かけてリニューアルします。平成26年度はだれでもトイレを整備します。
森林公園については、複合遊具の老朽化に伴い、新しい遊具を設置します。

予算の内訳（使いみち）

- 仲町第2公園リニューアル整備 1,300万円
- 森林公園への複合遊具の設置 1,000万円

財源内訳

- 小平市の負担額 2,300万円



中島町東公園に設置した複合遊具

◆用水路親水整備事業の実施

1,200万円

担当：水と緑と公園課

予算書掲載ページ：204

仲町公民館・仲町図書館の建替えに合わせ、建物の北側を流れる小川用水の親水整備を行います。
親水整備は用水路活用計画に基づいて進めており、水に親しめる空間をつくり出すことにより、地域住民と用水の関わりがより豊かなものとなります。

予算の内訳（使いみち）

- 親水整備工事 1,200万円

財源内訳

- 小平市の負担額 1,200万円



親水整備を実施した上宿公民館北側の小川用水

◆公共下水道長寿命化対策の推進

4,200万円

担当：下水道課

平成26年度小平市下水道事業特別会計予算書掲載ページ： 20

「小平市下水道長寿命化基本構想」において点検・調査の優先度が高いと評価された地域について、今後の改築・修繕を行うために必要となる管路の詳細調査を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 下水管路等詳細調査 4,200万円

財源内訳

- 国の負担額 1,440万円
- 都の負担額 72万円
- 小平市の負担額 2,688万円

◆公共下水道雨水整備の推進

2億9,400万円

担当：下水道課

平成26年度小平市下水道事業特別会計予算書掲載ページ： 20

分流式下水道区域の浸水対策のために、引き続き、花小金井地区や大沼地区において雨水管きょ築造工事を5路線で行います。

予算の内訳（使いみち）

- 管きょ築造工事 2億3,120万円
- 実施設計 5,780万円
- 社会資本総合整備計画事後評価 500万円

財源内訳

- 国の負担額 5,410万円
- 都の負担額 270万5千円
- 小平市の負担額 2億3,719万5千円
(うち市の借金 1億5,650万円)



雨水管きょ築造工事の様子

◆避難所へのマンホールトイレの整備【再掲】

9,987万円

この事業については、5ページに掲載してあります。

◆太陽光発電 日本一への推進

担当：図書館、体育課、公民館、教育庶務課、環境保全課

5,428万円

予算書掲載ページ： 172、238
240、292
302

二酸化炭素排出量の削減に向け、新エネルギーの積極的導入を図るため、市内の公共施設に太陽光発電装置を設置します。平成26年度は仲町公民館・仲町図書館と東部公園プール管理棟に太陽光発電装置の設置を行うほか、上宿図書館、小川公民館及び二小、十小の設計と今後の設置に向けた構造調査を実施します。

また、一般家庭等で太陽光発電装置を設置するモニターへ設置費の一部を助成します。助成予定件数は、200件です。

予算の内訳（使いみち）

| | |
|---------------------|---------|
| ●仲町公民館・仲町図書館（5kW）設置 | 733万3千円 |
| ●東部公園プール管理棟（8kW）設置 | 1,944万円 |
| ●上宿図書館設計 | 205万7千円 |
| ●小川公民館設計 | 205万8千円 |
| ●小学校（二小・十小）設計 | 229万1千円 |
| ●構造調査（2か所） | 95万1千円 |
| ●太陽光発電設備モニター助成 | 2,015万円 |

財源内訳

| | |
|----------------------------|-----------|
| ■都の負担額 （市町村総合交付金） | 73万9千円 |
| ■小平市の負担額 （うち市の借金 610万円） | 5,354万1千円 |



元気村おがわ東屋上に設置された太陽光発電装置



モニター助成により設置された太陽光発電装置

◆公共施設の高効率照明化の推進

担当：交通対策課、水と緑と公園課

1,234万2千円

予算書掲載ページ：200、202、
216

公共施設への高効率照明の導入を進め、使用電気料の縮減や耐久性の向上による環境負荷の軽減を図ります。自転車駐車場については、小平駅周辺の4か所の有料自転車駐車場で実施します。街路灯については、十小通りで実施します。玉川上水緑道については、喜平橋から貫井橋までの左岸のフットライトを交換します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-----------------|--------|
| ●自転車駐車場改修工事費等 | 472万円 |
| ●街路灯改修工事費（1路線） | 672万円 |
| ●玉川上水緑道フットライト交換 | 90万2千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-----------|
| ■小平市の負担額 | 1,234万2千円 |



LED照明に交換した街路灯

◆高効率照明化への補助の実施

担当：産業振興課、地域文化課

824万円

予算書掲載ページ：68、192

環境負荷の低減、省エネ・省資源化のため、商店会へ省エネ街路灯の設置費を補助します。また、自治会へ省エネ防犯灯の設置費を補助します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|----------------|-------|
| ●商店会街路灯等設置費の補助 | 224万円 |
| ●自治会防犯灯設置費の補助 | 600万円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-------|
| ■小平市の負担額 | 824万円 |



商店会に設置されたLED街路灯

◆市民版環境配慮指針の見直し

36万円

担当：環境保全課

予算書掲載ページ：172

平成16年に策定した「市民版環境配慮指針」について、その後の社会情勢の変化や第二次環境基本計画を踏まえ、現状に合わせた内容に見直します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------|--------|
| ●コーディネーター謝礼 | 15万4千円 |
| ●印刷製本費 | 20万6千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|------|
| ■小平市の負担額 | 36万円 |

◆資源化品目の拡大によるリサイクルの推進

1,129万7千円

担当：ごみ減量対策課

予算書掲載ページ：174、178

平成26年11月頃から、エアゾール缶や使い捨てライター、羽毛布団について、全市での分別収集を行います。また、「ごみと資源の出し方パンフレット」の更新及び全戸配布を行い、加えて、外国語版「ごみと資源の出し方パンフレット」を更新し、希望者に配布します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------------|---------|
| ●エアゾール缶・ライター処理委託 | 354万9千円 |
| ●資源物選別委託 | 280万1千円 |
| ●分別パンフレット作成 | 119万4千円 |
| ●分別パンフレット全戸配布 | 177万円 |
| ●分別パンフレット（外国語版）作成 | 115万1千円 |
| ●集積所看板 | 83万2千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-----------|
| ■広告収入 | 40万円 |
| ■小平市の負担額 | 1,089万7千円 |



新たに分別収集を開始するエアゾール缶・使い捨てライター

◆食物資源循環モデル事業の実施

担当：ごみ減量対策課

1,049万2千円

予算書掲載ページ： 178

平成25年度に引き続き、循環型社会を目指したごみ減量の取り組みとして、生ごみを資源化できる食物資源として位置づけ収集し、堆肥として資源化します。

今年度は、市内全域を対象に参加世帯を800世帯に拡大し、市内での資源循環を目指します。

予算の内訳（使いみち）

| | |
|-------------|---------|
| ●消耗品等 | 52万9千円 |
| ●食物資源循環業務委託 | 996万3千円 |

財源内訳

| | |
|----------|-----------|
| ■小平市の負担額 | 1,049万2千円 |
|----------|-----------|



食物資源（生ごみ）回収の様子

☆その他の事業

| | |
|---|--------------|
| ◆公害対策・環境保全等経費 | 2,417万3千円 |
| ◆塵芥処理経費（ごみ収集、処分など） | 19億8,001万2千円 |
| ◆リサイクル対策経費 （リサイクルの推進、リサイクルセンターの管理運営など） | 4億6,180万7千円 |
| ◆用水路経費（整備、維持管理、雨水浸透など） | 6,124万円 |
| ◆公園緑地経費（維持管理、緑地の保全など） | 4億146万1千円 |
| ◆下水道事業経費（下水道事業特別会計への繰出金） | 13億7,000万円 |

3 健康で、はつらつとしたまちをめざして 一次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習一

だれもがいつまでも健康で、また地域とともにより質の高い教育をめざすまち、次世代のためにもみんながお互いに助けあい、健康と福祉の向上をめざすやさしいまちの実現をめざします。

◆子ども・子育て支援事業計画の策定

332万7千円

担当：児童課

予算書掲載ページ：132、142

子ども・子育て支援法に基づき、平成27年度から5年間の期間とする「子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|------------------|--------|
| ●計画策定委託 | 300万円 |
| ●子ども・子育て審議会委員報酬等 | 32万7千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|---------|
| ■小平市の負担額 | 332万7千円 |

◆指定管理者による学童クラブの運営

1,640万7千円

担当：児童課

予算書掲載ページ：148

平成26年度に開設する十小学童クラブ第二を、指定管理者により運営します。定員は40名で、延長保育を実施します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------|-----------|
| ●指定管理料 | 1,640万7千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|---------|
| ■学童クラブ費 | 217万7千円 |
| ■都の負担額 | 717万3千円 |
| ■小平市の負担額 | 705万7千円 |



十小学童クラブ第二

◆認可保育園（私立保育園）の新設

4億2,135万1千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：134、136

私立保育園4園（アスク花小金井保育園・てんじん保育園 各定員60名、やさしい森保育園 定員70名、ココファン・ナーサリー花小金井 定員90名）を開設します。これにより、平成26年度に保育定員が280名増加します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-----------------|-------------|
| ●保育実施等委託（増分） | 3億8,115万4千円 |
| ●園舎整備費（てんじん保育園） | 4,019万7千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-------------|
| ■保育料 | 4,342万7千円 |
| ■国の負担額 | 6,871万2千円 |
| ■都の負担額 | 7,072万4千円 |
| ■小平市の負担額 | 2億3,848万8千円 |



平成25年6月に新設された「花小金井にこここ保育園」

◆認証保育所の認可保育所への移行

7,343万4千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：134、136

東京都認証保育所の「ドリームキッズ花小金井保育園」が、平成26年5月に私立認可保育園へ移行します。これにより、保育定員は30名から46名となります。

予算の内訳（使いみち）

| | |
|----------|---------|
| ●保育実施等委託 | 7,068万円 |
| ●園舎整備費 | 275万4千円 |

財源内訳

| | |
|----------|-----------|
| ■保育料 | 618万6千円 |
| ■国の負担額 | 1,395万5千円 |
| ■都の負担額 | 927万2千円 |
| ■小平市の負担額 | 4,402万1千円 |

◆私立保育園の園舎整備への補助

1億9,294万4千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：136

市立鈴木保育園の私立保育園への移行に伴い、移管先の社会福祉法人が行う園舎整備に対し補助を実施します。平成25・26年度の2か年にかけて園舎を整備し、平成27年4月に新園を開園予定です。予算額の2か年合計は、2億310万4千円です。

予算の内訳（使いみち）

| | |
|----------|-------------|
| ●園舎整備費補助 | 1億9,294万4千円 |
|----------|-------------|

財源内訳

| | |
|----------|-------------|
| ■都の負担額 | 1億7,456万8千円 |
| ■小平市の負担額 | 1,837万6千円 |
| （うち市の借金 | 1,470万円） |

◆小川西保育園の建替え

4億9,032万6千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：138、140

平成23年度に実施した園舎の耐震診断結果を踏まえ、小川西保育園の建替えを行います。新園舎建設期間中は、仮設園舎で保育を実施し、平成27年度は新園舎で保育を実施する予定です。新園舎では新たに0歳児保育を実施します。

なお、新園舎完成までの予算額は、平成25年度分をあわせて、6億5,034万6千円です。

予算の内訳（使いみち）

| | |
|-------------|-------------|
| ●改築工事 | 3億7,747万3千円 |
| ●解体工事 | 2,121万6千円 |
| ●仮設園舎・用地借上げ | 7,502万6千円 |
| ●備品 | 1,230万円 |
| ●消耗品・委託料等 | 431万1千円 |

財源内訳

| | |
|-------------|-------------|
| ■都の負担額 | 5,700万円 |
| （うち市町村総合交付金 | 5,700万円） |
| ■小平市の負担額 | 4億3,332万6千円 |
| （うち市の貯金取崩し | 1億円） |
| （うち市の借金 | 2億7,120万円） |



小川西保育園仮設園舎

◆定期利用保育事業の実施

1,300万円

担当：保育課

予算書掲載ページ： 136

平成26年度に新設される、私立保育園2園で、就労要件で認可保育園への入所待ちをしている方を対象に、一定期間児童をお預かりする定期利用保育を実施します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------|---------|
| ●開設準備補助 | 100万円 |
| ●運営費補助 | 1,200万円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-------|
| ■都の負担額 | 650万円 |
| ■小平市の負担額 | 650万円 |

☆その他の事業（次世代育成）

| | |
|-------------------------------------|--------------|
| ◆民間保育園・認証保育所等経費 | 26億1,858万7千円 |
| ◆市立保育園の運営経費 | 18億4,610万6千円 |
| ◆児童助成経費 (児童手当、児童扶養手当、乳幼児医療費助成など) | 47億7,713万3千円 |
| ◆ひとり親福祉経費（ひとり親家庭医療費助成、母子相談など） | 1億133万3千円 |
| ◆学童クラブ経費 | 3億4,886万4千円 |
| ◆児童館経費 | 5,595万9千円 |

◆がん検診受診率向上対策事業の実施

291万5千円

担当：健康課

予算書掲載ページ： 158

がん検診の受診率を向上させるため、市が実施するがん検診において特定の年齢の方に対し、個別に受診勧奨を行います。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------|---------|
| ●郵送料等 | 104万9千円 |
| ●作成委託等 | 186万6千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|---------|
| ■都の負担額 | 145万7千円 |
| ■小平市の負担額 | 145万8千円 |

◆骨粗しょう症検診の実施

107万5千円

担当：健康課

予算書掲載ページ： 158

40から70歳までの特定の年齢の女性市民を対象に検診を実施します。これにより、過度の骨量減少を早期に発見し、将来の骨粗しょう症及び要介護化の予防に努めます。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------|--------|
| ●健康診断等委託 | 97万2千円 |
| ●需用費、役務費など | 10万3千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|--------|
| ■都の負担額 | 66万1千円 |
| ■小平市の負担額 | 41万4千円 |

◆高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定

336万2千円

担当：高齢者福祉課、介護福祉課

予算書掲載ページ：120

平成26年度小平市介護保険事業特別会計予算書掲載ページ：16

現行の「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」が平成26年度で終了するため、次期計画（平成27年度～平成29年度）を策定します。

| | |
|--------------------|--------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●計画策定業務委託 | 300万円 |
| ●介護保険運営協議会委員謝礼（増分） | 36万2千円 |

| | |
|----------|---------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 336万2千円 |

◆社会貢献型後見人（市民後見人）養成事業

21万4千円

担当：高齢者福祉課

予算書掲載ページ：100

社会貢献意欲が高い市民の方を、社会貢献型後見人として養成・支援していくための事業を実施します。

| | |
|-----------------|--------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●社会福祉協議会への事業費補助 | 21万4千円 |

| | |
|----------|--------|
| 財源内訳 | |
| ■都の負担額 | 10万7千円 |
| ■小平市の負担額 | 10万7千円 |

◆高齢者見守りサポーター養成研修の実施

100万円

担当：介護福祉課

予算書掲載ページ：124

地域における高齢者の見守り活動を推進するため、見守りガイドブックの作成、地域住民・民生委員等を対象とする研修を実施します。

| | |
|--------------|-------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●社会福祉協議会への委託 | 100万円 |

| | |
|--------|-------|
| 財源内訳 | |
| ■都の負担額 | 100万円 |

◆障がい者福祉計画・障害福祉計画の策定

414万5千円

担当：障害者福祉課

予算書掲載ページ：104

現行の「障がい者福祉計画・障害福祉計画」が平成26年度で終了するため、次期計画を策定します。

| | |
|--------------|---------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●計画策定業務委託 | 300万円 |
| ●計画策定委員会委員謝礼 | 114万5千円 |

| | |
|----------|---------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 414万5千円 |

◆障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援

1,584万5千円

担当：障害者福祉課

予算書掲載ページ：110、114

障がい者グループホーム1か所（定員7名）を増設します。現在、市内には身体1か所、知的15か所、精神2か所の計18か所のグループホームがあります。

予算の内訳（使いみち）

- 共同生活援助給付費、施設借上費（増設分）
1,584万5千円

財源内訳

| | |
|----------|---------|
| ■国の負担額 | 296万4千円 |
| ■都の負担額 | 537万6千円 |
| ■小平市の負担額 | 750万5千円 |

☆その他の事業（健康福祉）

| | |
|--|--------------|
| ◆社会福祉団体育成事業経費（小平市社会福祉協議会など） | 1億4,299万9千円 |
| ◆障害者福祉センター、あおぞら福祉センター経費 | 2億7,507万9千円 |
| ◆障害者自立支援給付費経費 | 34億7,406万7千円 |
| ◆障害者地域生活支援事業経費（日常生活用具給付、移動支援など） | 2億6,726万6千円 |
| ◆障害者福祉推進事業経費（各種補助事業など） | 3億2,098万9千円 |
| ◆障害者助成費事業経費（心身障害者福祉手当など） | 5億7,102万7千円 |
| ◆国民健康保険事業特別会計繰出金 | 25億円 |
| ◆介護予防・生活支援事業経費 （高齢者住宅経費、特養老人ホーム建設費補助など） | 2億6,708万7千円 |
| ◆高齢者福祉施設経費（福社会館、さわやか館、ほのぼの館など） | 1億885万8千円 |
| ◆高齢者福祉推進事業経費（老人クラブ補助、敬老記念品など） | 2,318万7千円 |
| ◆高齢者助成費事業経費（おむつ支給） | 1,123万2千円 |
| ◆後期高齢者医療特別会計繰出金 | 17億2,600万円 |
| ◆介護保険事業特別会計繰出金 | 17億3,500万円 |
| ◆生活保護事業経費 | 62億9,346万7千円 |
| ◆健康診査・予防接種・がん検診等経費 | 6億5,906万円 |
| ◆健康教室・乳幼児健康診査等経費 | 2億496万4千円 |

◆学校施設の整備【一部再掲】

担当：教育庶務課

2億5,528万6千円

予算書掲載ページ：238、240

二小校舎の老朽化に伴う大規模改造設計（太陽光発電装置設計を含む）と老朽化した万年塀改修工事、十小の児童数増加に伴う増築設計と大規模改造設計（太陽光発電装置設計を含む）、十三小と鈴木小の防火シャッターへの危害防止装置の取り付け、学園東小のプール更衣室及び、緑化整備の設計を行います。

また、都市計画道路3・4・23号線の整備に伴い、十二小収用部分についての外構整備、旧給食室の解体、緑化整備の工事を行います。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|------------------|-----------|
| ●十二小外構等工事 | 2億63万8千円 |
| ●防火シャッター改修 | 2,801万8千円 |
| ●二小万年塀改修工事 | 800万円 |
| ●十小増築・大規模改造設計 | 840万円 |
| ●二小大規模改造設計 | 753万円 |
| ●学園東小プール更衣室等改修設計 | 270万円 |

| 財源内訳 | |
|----------------------|-------------|
| ■国の負担額 | 283万3千円 |
| ■都の負担額 (市町村総合交付金) | 740万円 |
| ■小平市の負担額 | 2億4,505万3千円 |
| (うち市の貯金取崩し) | 5,000万円) |
| (うち市の借金) | 1億5,880万円) |



十二小の外構の様子

◆学校体育館の防災機能強化

担当：教育庶務課

1億4,080万9千円

予算書掲載ページ：238、240

災害時における児童・生徒の安全の確保のほか、避難施設としての機能の強化を図るため、体育館の照明器具の更新、非構造部材の耐震化、自家発電設備の設置を実施します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------|-----------|
| ●非構造部材耐震化工事 | 969万8千円 |
| ●照明器具更新 | 761万1千円 |
| ●自家発電設備設置工事 | 1億2,350万円 |

| 財源内訳 | |
|----------------------|-----------|
| ■国の負担額 | 1,932万円 |
| ■都の負担額 (市町村総合交付金) | 2,890万円 |
| ■小平市の負担額 | 9,258万9千円 |
| (うち市の借金) | 8,010万円) |



自家発電機の様子

◆小学校給食調理業務の委託化

担当：学務課

6,944万6千円

予算書掲載ページ：306

平成24年度に六小の給食調理業務の民間委託を実施しており、平成26年度から新たに十二小及び花小金井小で民間委託を実施します。また、平成27年度から委託実施予定の四小及び上宿小で強化磁器食器等を購入し、給食環境の整備を行います。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------------|-----------|
| ●給食調理業務委託（増設分） | 4,699万1千円 |
| ●強化磁器食器・食器かご（増設分） | 354万7千円 |
| ●厨房機器（増設分） | 1,890万8千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-----------|
| ■小平市の負担額 | 6,944万6千円 |

◆アレルギー研修の実施

担当：学務課

15万円

予算書掲載ページ：246

平成25年度に見直した食物アレルギー対応方針に基づき、小・中学校の食物アレルギー対応を徹底させるために、校長等管理職、一般教員、養護教諭、栄養士、調理員に対してアレルギー研修を実施します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|--------------|------|
| ●教職員等研修・講師謝礼 | 15万円 |

| 財源内訳 | |
|----------|------|
| ■小平市の負担額 | 15万円 |

◆スクールソーシャルワーカーの配置の拡充

担当：指導課

956万9千円

予算書掲載ページ：236

中学校8校全校にスクールソーシャルワーカーを年間75日ずつ配置します。不登校など課題を抱える生徒の実態について、現状把握及び原因分析をはじめとして、教職員への助言・支援、生徒・保護者に対するカウンセリングや家庭訪問、関係機関との連絡の調整などを実施します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|----------------------|---------|
| ●スクールソーシャルワーカーへの謝礼など | 956万9千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|---------|
| ■小平市の負担額 | 956万9千円 |

◆特別支援教育の充実

担当：学務課、指導課

1,048万7千円

予算書掲載ページ：234、242、244、252、

七小及び四中に、特別支援学級（情緒障害等通級指導学級）を設置します。これに伴い、通学バスを1台増台します。

また、発達障がい等の特別な教育的支援を必要とする児童・生徒のため、特別支援教育支援員を配置します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|----------------|---------|
| ●特別支援学級運営費用 | 674万6千円 |
| ●特別支援教育支援員賃金など | 374万1千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-----------|
| ■小平市の負担額 | 1,048万7千円 |

◆コミュニティ・スクールの推進

376万9千円

担当：指導課

予算書掲載ページ：236

保護者や地域の方が学校の運営に参画し、地域の教育力を学校教育に活かして、地域に開かれた学校づくりを推進します。

現在、三小、四小、六小、八小の4校がコミュニティ・スクール指定校であり、平成26年度は、新たに七小、六中の2校の指定を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 学校経営協議会委員報酬 136万8千円
- 消耗品、講師謝礼など 240万1千円

財源内訳

- 国の負担額 110万円
- 小平市の負担額 266万9千円

◆非核平和事業の実施

85万4千円

担当：生涯学習推進課

予算書掲載ページ：258

小・中学生10名を公募し、広島市の平和記念式典に参加します。また、中央公民館のギャラリーでパネル展示を開催するとともに、被爆体験者による語り部と式典に参加した小・中学生の学習発表及び相互の意見交換を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 小・中学生広島平和学習旅行手配・旅費等 80万2千円
- パネル展示臨時職員賃金・返送料 4万2千円
- 語り部謝礼 1万円

財源内訳

- 広島派遣参加者負担金 21万円
- 小平市の負担額 64万4千円



被爆体験者による語り部

◆放課後子ども教室の拡充

3,216万8千円

担当：生涯学習推進課

予算書掲載ページ：268

放課後や週末等に学校を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

平成26年度は、小学校19校において、勉強やスポーツ・文化活動、地域の方々との交流等の機会を提供します。また、中学校2校において学習活動を中心に実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 運営委員会・コーディネーターへの謝礼 541万6千円
- 運営委員会消耗品費 40万4千円
- 放課後子ども教室実行委員委託料 2,571万8千円
- 開設備品購入費 63万円

財源内訳

- 都の負担額 2,144万5千円
- 小平市の負担額 1,072万3千円



放課後子ども教室

◆中央公園競技場の整備（第四種公認更新）

1,375万1千円

担当：体育課

予算書掲載ページ：298、300

中央公園競技場は、平成16年に日本陸上競技連盟の第四種競技場として公認を受けており、平成21年度の更新後、5年を経過したことから2回目の更新をするために必要な工事の実施や備品の調達をします。

| | |
|-------------|-----------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●競技場の整備 | 1,338万3千円 |
| ●備品の購入 | 36万8千円 |

| | |
|----------|-----------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 1,375万1千円 |



中央公園競技場で開催された
少年少女マラソン大会の様子

◆市民総合体育館への指定管理者制度の導入

3万6千円

担当：体育課

予算書掲載ページ：304

市民総合体育館について、平成27年4月から指定管理者制度の導入を目指し、サービスの向上を図ります。平成26年度は、指定管理者選定委員会を開催します。

| | |
|-------------|-------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●選定委員謝礼 | 3万6千円 |

| | |
|----------|-------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 3万6千円 |



市民総合体育館

◆仲町公民館・仲町図書館の整備【一部再掲】

担当：図書館、公民館

7億2,972万2千円

予算書掲載ページ：272、274
282、284
286、288

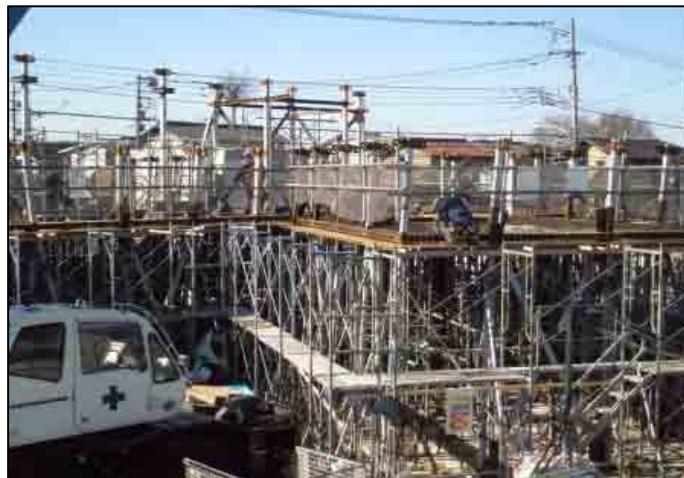
仲町公民館及び仲町図書館の合築による建替えのため、本体工事等（太陽光発電装置の設置を含む）を行います。平成26年度中のオープンを予定しています。オープンの際には、平成25年度に募集・決定した愛称「なかまちテラス」を活用し、広報をしていきます。

予算の内訳（使いみち）

| | |
|--------------------------------|-------------|
| ● 図書 の 保管・移送等 | 598万8千円 |
| ● 建替え工事費等 （改築工事・配線工事・工事監理等） | 6億2,793万8千円 |
| ● 備品、書籍、消耗品購入 | 8,153万2千円 |
| ● システム機器等の導入・保守・借上 | 1,035万8千円 |
| ● 開館式典関係費 | 102万1千円 |
| ● 啓発関係費 | 288万5千円 |

財源内訳

| | |
|--------------------------------|-------------|
| ■ 都の負担額 （市町村総合交付金） | 1億950万円 |
| ■ 小平市の負担額 （うちの借金 5億1,460万円） | 6億2,022万2千円 |



仲町公民館・仲町図書館の工事状況
（平成26年3月現在）

☆その他の事業（教育・生涯学習）

| | |
|---------------------------------------|-------------|
| ◆ 小学校経費（小学校施設維持管理・就学援助・保健事業・給食運営事業など） | 12億8,736万円 |
| ◆ 中学校経費（中学校施設維持管理・就学援助・保健事業・給食運営事業など） | 8億2,816万7千円 |
| ◆ 公民館経費 | 3億9,329万2千円 |
| ◆ 図書館経費 | 7億5,099万1千円 |
| ◆ 体育館・体育施設経費 | 4億3,472万1千円 |

4 住みやすく、希望のあるまちをめざして —都市基盤・交通・産業—

住みやすく魅力あふれるまち、だれもが気持ちよく過ごすことができるように駅前や道路が整備され、すべての人々にとって親しみがあり、生活に便利な味わいのあるまちの実現をめざします。

◆都市計画マスタープランの改定

392万3千円

担当：まちづくり課

予算書掲載ページ：210

都市計画マスタープラン（平成19年3月改定）における事業目標年次が平成28年度末に到来することから、平成29年度以降のプランの更新に着手します。平成26年度は現状の把握や全体構想案の検討などを行います。

予算の内訳（使いみち）

- 検討委員会委員報酬・消耗品費 27万2千円
- 計画策定支援委託 365万1千円

財源内訳

- 小平市の負担額 392万3千円

◆（仮称）まちづくりにおける風致地区の基本的考え方の策定

610万2千円

担当：まちづくり課

予算書掲載ページ：210

市内に4か所ある風致地区（東京道、青梅街道、鈴木道、玉川上水）について、地区それぞれの特性や緑被現況を踏まえ、「小平市の風致」として指定の意義を明らかにし、維持、創出のための緑化水準や他の代替制度の検討など、基本的な考え方をまとめます。

風致地区とは、建築物の建築、宅地の造成などの行為について規制を行い、都市における自然的な環境・景観を維持する地域として、都市計画法で定められた制度です。

予算の内訳（使いみち）

- 計画策定支援委託 610万2千円

財源内訳

- 小平市の負担額 610万2千円



風致地区（東京道）の様子

◆小川駅西口地区再開発事業の推進

340万円

担当：地域整備支援課

予算書掲載ページ： 212

平成19年5月に設立された再開発準備組合に対し活動費の補助を行います。また、都市計画決定に向けた準備として、引き続き都市計画資料等を作成するとともに、再開発準備組合に対し技術的支援を行います。

| | |
|-------------|-------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●都市計画資料等作成 | 300万円 |
| ●補助金（準備組合へ） | 40万円 |

| | |
|----------|-------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 340万円 |



小川駅西口の様子

◆小平駅北口地区再開発事業の推進

30万円

担当：地域整備支援課

予算書掲載ページ： 212

平成25年2月に設立された再開発協議会に対し活動費の補助を行うとともに、引き続き再開発事業の技術的支援を行います。

| | |
|-------------|------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●補助金（協議会へ） | 30万円 |

| | |
|----------|------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 30万円 |



小平駅北口の様子

◆小平都市計画道路3・4・23号線の整備

担当：都市開発部（都市計画道路）

1億7,894万3千円

予算書掲載ページ：218

都市計画道路3・4・23号線の整備を進めるため、橋りょう工事及び街路築造工事を玉川上水周辺の自然環境に配慮して行います。また、玉川上水の自然環境調査や事業用地の管理などを行います。

予算の内訳（使いみち）

- 玉川上水自然環境調査等委託 723万3千円
- 橋りょう関連工事・街路築造工事 1億6,686万3千円
- 事業用地維持管理費 484万7千円

財源内訳

- 国の負担額 4,200万円
- 小平市の負担額 1億3,694万3千円



都市計画道路3・4・23号線の整備が完了した地域

◆都市計画道路整備の推進

担当：都市開発部（都市計画道路）

878万8千円

予算書掲載ページ：220

今後、事業化の検討が必要と考えられる都市計画道路について、関係機関との調整や事業計画の策定に向けた研究を行うための基礎資料を作成します。平成26年度は都市計画道路3・4・10号線や3・4・19号線などの資料作成を行うとともに、道路全般に関する現況調査等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 協議用資料作成委託 621万7千円
- 現況調査等 257万1千円

財源内訳

- 小平市の負担額 878万8千円

◆市内公共交通の充実

担当：都市開発部（公共交通）

4,072万5千円

予算書掲載ページ：210、212

コミュニティタクシーについては、平成25年11月に実証実験運行を開始した小平南東部地域ルート、試行運行を実施している大沼ルート及び栄町ルートについて、運行経費の補助を行います。コミュニティバスに対する運行経費の補助や公共交通マップの作成などを引き続き行います。

予算の内訳（使いみち）

- コミュニティバス運行経費補助・消耗品 1,949万6千円
- コミュニティタクシー運行経費補助 1,900万円
- 総合的な交通体系整備支援 222万9千円
（謝礼・消耗品・マップ作成・ちらし配布委託等）

財源内訳

- 都の負担額 117万9千円
- 公共交通マップ広告収入 33万円
- 小平市の負担額 3,921万6千円



実証実験運行を開始した
小平南東部地域ルートのコミュニティタクシー

◆道路整備事業の充実

担当：みちづくり課

4億2,557万円

予算書掲載ページ：206、208

道路新設改良事業として5箇所（①～⑤）、道路維持補修事業として10箇所（①～⑩）を予定しています。また、私道に対する助成を引き続き実施します。

※道路整備予定箇所については、次ページに掲載しています。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------|-----------|
| ●新設改良工事 | 1億4,750万円 |
| ●道路維持補修工事 | 2億1,670万円 |
| ●私道補助 | 6,137万円 |

| 財源内訳 | |
|-------------------|------------|
| ■都の負担額 | 1億650万円 |
| （うち市町村土木補助 | 2,790万円） |
| （うち地域福祉推進区市町村包括補助 | 700万円） |
| （うち市町村総合交付金 | 7,160万円） |
| ■私道補助事業受託収入 | 558万円 |
| ■小平市の負担額 | 3億1,349万円 |
| （うち市の借金 | 2億5,410万円） |

◆道路ストック（道路・案内標識）の総点検

担当：みちづくり課、交通対策課

3,232万6千円

予算書掲載ページ：198、200、206

市が管理する道路について、ひび割れやわだち掘れなどの路面の状態や、主要路線における地下の空洞化の状況について調査を行い、電子データにより管理します。また、市道上の案内標識について、老朽化に伴う落下などの恐れがないか点検します。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-----------------|---------|
| ●路面性状調査・空洞化調査委託 | 2,983万円 |
| ●舗装管理用備品 | 17万円 |
| ●案内標識点検 | 232万6千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-----------|
| ■国の負担額 | 1,210万円 |
| ■小平市の負担額 | 2,022万6千円 |



市道上に設置されている案内標識

◆官民境界等先行調査の実施

担当：みちづくり課

644万5千円

予算書掲載ページ：198、206

市が管理する道路と民有地との境界について、街区単位で測量等を行う官民境界等先行調査を実施します。平成26年度は調査の事前準備として、2級基準点の改測や支援システムの構築を行います。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-----------------------------|-------|
| ●2級基準点改測・支援システム構築 | 615万円 |
| ●調査用備品 | 25万円 |
| ●全国国土調査協会・東京都国土調査推進協議会への負担金 | 4万5千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|---------|
| ■国の負担額 | 461万3千円 |
| ■小平市の負担額 | 183万2千円 |



官民境界等先行調査のイメージ

◆商業振興事業の実施

担当：産業振興課

4,771万3千円

予算書掲載ページ：188、190

192

地域コミュニティの核である商店街の活性化のため、事業主との連携の中で、魅力ある商店街づくりなどを支援し、商業の振興を図るため、次の事業を実施します。

- ① 商工業後継者育成資金あっせん事業
- ② 食を核とした地域にぎわい事業
- ③ 新・元気を出せ！商店街事業
- ④ 魅力ある商店街支援事業
- ⑤ 中小企業等活性化推進補助事業
- ⑥ 小口事業資金融資事業
- ⑦ 不況対策特別資金融資事業

| 予算の内訳（使いみち） | |
|-------------------|-----------|
| ●商工業後継者育成資金あっせん事業 | 51万6千円 |
| ●食を核とした地域にぎわい事業 | 320万円 |
| ●新・元気を出せ！商店街事業 | 1,715万6千円 |
| ●魅力ある商店街支援事業 | 329万1千円 |
| ●中小企業等活性化推進補助事業 | 129万円 |
| ●小口事業資金融資事業 | 1,868万3千円 |
| ●不況対策特別資金融資事業 | 357万7千円 |

| 財源内訳 | |
|----------|-----------|
| ■都の負担額 | 1,082万4千円 |
| ■小平市の負担額 | 3,688万9千円 |



新・元気を出せ！商店街事業を活用した
せいぶ通り秋祭りの様子

◆市内店舗リフォーム補助の実施

401万円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：192

市内で店舗を所有又は賃貸し、商工会又は商店会に加入している事業者に対し、市内建設事業者を活用して改修工事等を行った場合に、費用の一部を補助し、市内建設事業者の受注機会の拡大、事業者の設備投資の意欲の促進、改修等による魅力ある店舗の増加により、地域経済の活性化を図ります。

| | |
|-------------|-------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●リフォーム補助 | 400万円 |
| ●消耗品 | 1万円 |

| | |
|----------|-------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 401万円 |



リフォーム後の市内店舗

◆観光まちづくりの推進

230万円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：192、194

「小平市観光まちづくり振興プラン」に沿って、シンポジウムの開催、観光まちづくり大使の委嘱を行うほか、仲町公民館・仲町図書館（愛称「なかまちテラス」）1階のカフェラウンジに、観光案内システムを導入し、観光まちづくりの推進を図ります。

| | |
|-------------------------------|-------|
| 予算の内訳（使いみち） | |
| ●観光まちづくり大使 | 30万円 |
| ●観光まちづくりシンポジウム | 100万円 |
| ●仲町公民館・仲町図書館への 観光案内システムの導入 | 100万円 |

| | |
|----------|-------|
| 財源内訳 | |
| ■小平市の負担額 | 230万円 |



観光案内システムのイメージ

※実際に導入するものとは異なる場合があります。

◆農業振興事業の実施

2,100万6千円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：184、186

都市農業の利点をいかし、農業経営の支援、地産地消の推進、農産物のブランド化等を通じて農業の振興を図るため、次の事業を実施します。

- ① 地域農業担い手支援事業
- ② 畑からまっしぐら事業
- ③ 環境保全型農業推進事業
- ④ 地域と歩む農業推進事業
- ⑤ 小学校給食地場産農産物利用促進事業
- ⑥ 市民による農家支援事業
- ⑦ 地産地消推進事業

予算の内訳（使いみち）

| | |
|--------------------|---------|
| ●地域農業担い手支援事業 | 439万9千円 |
| ●畑からまっしぐら事業 | 380万円 |
| ●環境保全型農業推進事業 | 464万7千円 |
| ●地域と歩む農業推進事業 | 215万円 |
| ●小学校給食地場産農産物利用促進事業 | 442万円 |
| ●市民による農家支援事業 | 20万円 |
| ●地産地消推進事業 | 139万円 |

財源内訳

| | |
|----------|-----------|
| ■小平市の負担額 | 2,100万6千円 |
|----------|-----------|



畑で地場産農産物にふれる児童たち

☆その他の事業

| | |
|-----------------------------|-------------|
| ◆交通安全対策経費（交通安全、自転車対策） | 4億2,718万5千円 |
| ◆道路橋りょう経費（駅前広場、市道の管理、里道等管理） | 1億4,937万2千円 |

5 健全で、進化するまちをめざして — 地方自治・行財政 —

都市として進化する魅力あふれるまち、自己の責任で都市の行財政の運営をめざすことによっ
て、まちの輝きを持ち続け、またみんなに信頼され進化するまちをめざします。

◆ 電子自治体の推進

6,608万4千円

担当：秘書広報課、職員課、情報システム課、収納課、保険年金課

予算書掲載ページ： 52、54
62、82

平成26年度小平市国民健康保険事業特別会計予算書掲載ページ： 20

情報通信技術を活用し、市民サービスの向上及び電子化による事務の効率化を図るため、スマート
フォンアプリ「小平トピックス」の構築、小平元気村おがわ東への公共施設予約システムの導入、市
税のクレジットカード納付の導入などを実施します。

予算の内訳（使いみち）

- スマートフォンアプリ「小平トピックス」の構築 70万2千円
- 文書総合管理システムの構築 1,300万5千円
- 出退勤システムの拡充 87万3千円
- 社会保障・税番号制度に関するシステム構築 5,000万円
- 市税のクレジットカード納付の導入 58万4千円
- 小平元気村おがわ東公共施設予約システムの導入 92万円



公共施設予約システムによる施設の予約

財源内訳

- 国の負担額 5,000万円
- 小平市の負担額 1,608万4千円

◆ ICT業務継続計画の策定

980万円

担当：情報システム課

予算書掲載ページ： 62

大震災やサイバー攻撃が発生した場合にも、優先度に応じて、住民の安否確認や情報提供、各種証明
書発行業務などができるようICT（情報通信技術）部門の業務継続計画を策定します。

予算の内訳（使いみち）

- 計画策定等業務委託 980万円

財源内訳

- 小平市の負担額 980万円

◆公共施設マネジメントの推進

874万8千円

担当：行政経営課、学務課

予算書掲載ページ：62、308

今後の公共施設の更新を見据え、施設のあり方を検討し、全庁的な観点からマネジメントを推進します。平成26年度は、（仮称）公共施設白書の作成やシンポジウムを開催するほか、学校給食センターのPFI方式による建替えの可能性を調査するための業務委託を行います。

| 予算の内訳（使いみち） | |
|---------------------|---------|
| ●市民アンケート調査 | 199万8千円 |
| ●アドバイザー等謝礼 | 25万円 |
| ●（仮称）公共施設白書印刷・消耗品等 | 50万円 |
| ●学校給食センターPFI導入可能性調査 | 600万円 |

| 財源内訳 | |
|----------|---------|
| ■小平市の負担額 | 874万8千円 |



昨年度発行された小平市公共施設データ集

参 考 资 料

一般会計予算について

1 予算のポイント

(1) 将来にわたり施策展開を支えることができるよう財政基盤の強化に努めながら、選択と集中により必要な施策には積極的に投資することで、市民の安心安全を守るとともに、明るい未来を次世代に引き継げるよう、将来に向けて成長や活力の創出を図れるような事業の展開に取り組む予算として編成いたしました。

- 歳入では、市税が法人市民税を中心に増となり、全体的にも増えたことから、前年度と比べて4.1%の増となりました。
- 地方交付税については、引き続き普通交付税の交付団体になると見込みでしたが、前年度と比べて36.2%の減となりました。
- 財源不足を補うために、基金の活用や市債の発行などで補てんすることとしました。
- 歳出では、投資的経費が、仲町公民館・仲町図書館の整備費が増となりましたが、小学校空調設備設置の工事が減となったことなどにより、前年度と比べて約2億9千万円、8.8%の減となりました。
- 扶助費は、民間保育園にかかる委託費や障害者自立支援給付費の増などにより、前年度と比べて6.0%の増となりました。
- 補助費等は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の増などにより、前年度と比べて11.7%の増となりました。

(2) 行財政改革への取り組み

- 平成26年度予算における行財政改革の取組効果は約1億3,200万円となりました。
- 歳出削減策としては、給与水準や諸手当の見直しにより約2,800万円、委託内容等の見直しにより約6,200万円、内部努力による管理事務費等の見直しにより約1,200万円、民間委託化等の推進により約600万円、補助金や事務事業の見直しなど施策の見直し等により約1,800万円、それぞれ経費を節減しました。
- 歳入確保策としては、自転車駐車場の使用料の増や広告収入の確保を図ることにより約600万円を確保しました。

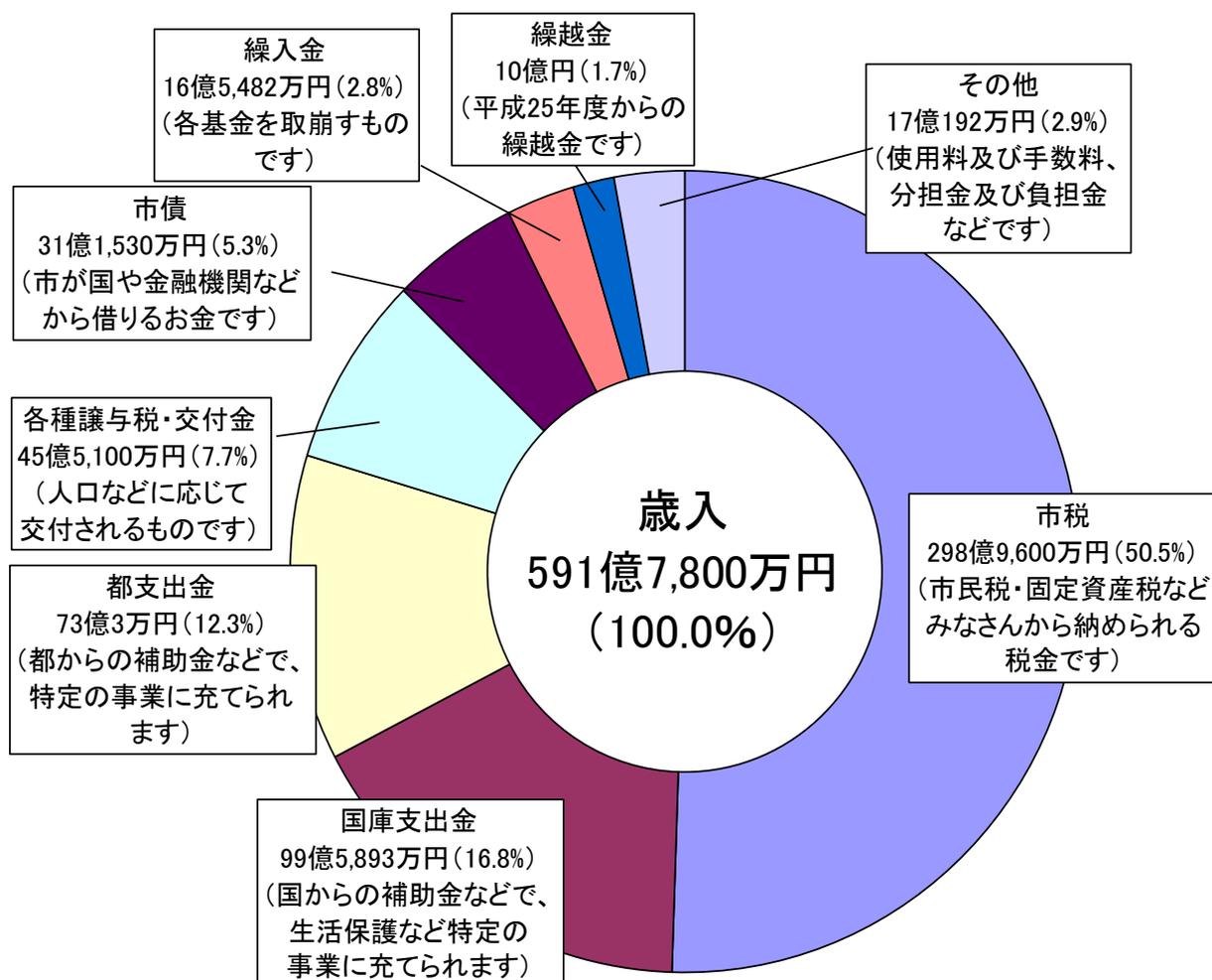
2 歳入予算について

歳入予算の内訳

(単位：%)

| 区 分 | 26 年度予算額 | 25 年度予算額 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|----------------|----------------|---------------|-------|
| 市 税 | 298 億 9,600 万円 | 287 億 1,200 万円 | 11 億 8,400 万円 | 4.1 |
| 国 庫 支 出 金 | 99 億 5,893 万円 | 91 億 2,025 万円 | 8 億 3,868 万円 | 9.2 |
| 都 支 出 金 | 73 億 3 万円 | 70 億 7,654 万円 | 2 億 2,349 万円 | 3.2 |
| 各種譲与税・交付金 | 45 億 5,100 万円 | 44 億 4,500 万円 | 1 億 600 万円 | 2.4 |
| 市 債 | 31 億 1,530 万円 | 38 億 3,800 万円 | △7 億 2,270 万円 | △18.8 |
| 繰 入 金 | 16 億 5,482 万円 | 19 億 6,896 万円 | △3 億 1,414 万円 | △16.0 |
| 繰 越 金 | 10 億円 | 10 億円 | — | — |
| そ の 他 | 17 億 192 万円 | 16 億 1,874 万円 | 8,318 万円 | 5.1 |
| 合 計 | 591 億 7,800 万円 | 577 億 7,949 万円 | 13 億 9,851 万円 | 2.4 |

※「その他」には、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入などを含まます。



- (1) 市税は298億9,600万円で、前年度比11億8,400万円、4.1%の増となりました。
- (2) 各種譲与税・交付金のうち、地方交付税は、税収の回復等による普通地方交付税の減を見込み、6億4,300万円減の11億3,500万円となりました。
- (3) 国庫支出金は、臨時福祉給付金事業費の皆増などにより8億3,868万円の増、都支出金は保育所緊急整備事業費の増などにより、2億2,349万円の増となりました。
- (4) 繰入金は、公共施設整備基金繰入金が5,000万円の増となりましたが、土地開発基金繰入金が2億円の皆減、財政調整基金繰入金が2億3,000万円の減となったことなどから、3億1,414万円の減となりました。
- (5) 市債は、仲町公民館・仲町図書館改築のため、社会教育債が2億8,340万円の増となりましたが、臨時財政対策債が5億4,500万円の減となったことなどから、7億2,270万円の減となりました。

◆市税

- 市税収入は、前年度比11億8,400万円の増となりました。企業収益が改善傾向にあることから、法人市民税が大幅な増となりました。
- 個人市民税は、税制改正の影響と納税義務者数の増により、前年度比2億8,160万円の増、法人市民税は、大手法人の増収等により、6億3,832万円の増となりました。
- 固定資産税は、土地の税制改正と家屋の新增築分等を見込んだことにより、2億380万円の増となりました。

(単位：%)

| 区 分 | 26年度 | 25年度 | 増減額 | 増減率 | H19決算 (比・割時) |
|-----------------|-------------|-------------|------------|------|-----------------|
| 市 民 税 | 149億1,080万円 | 139億9,088万円 | 9億1,992万円 | 6.6 | 161億円 |
| 個 人 | 129億1,396万円 | 126億3,236万円 | 2億8,160万円 | 2.2 | 136億円 |
| 法 人 | 19億9,684万円 | 13億5,852万円 | 6億3,832万円 | 47.0 | 25億円 |
| 固定資産税・ 都市計画税 | 139億6,739万円 | 137億1,389万円 | 2億5,350万円 | 1.8 | 137億円 |
| 固定資産税 | 114億7,627万円 | 112億7,247万円 | 2億380万円 | 1.8 | 113億円 |
| 都市計画税 | 24億9,112万円 | 24億4,142万円 | 4,970万円 | 2.0 | 24億円 |
| 市たばこ税 | 9億2,309万円 | 9億1,611万円 | 698万円 | 0.8 | 10億円 |
| そ の 他 | 9,472万円 | 9,112万円 | 360万円 | 4.0 | 8千万円 |
| 合 計 | 298億9,600万円 | 287億1,200万円 | 11億8,400万円 | 4.1 | 309億円 |

3 歳出予算について

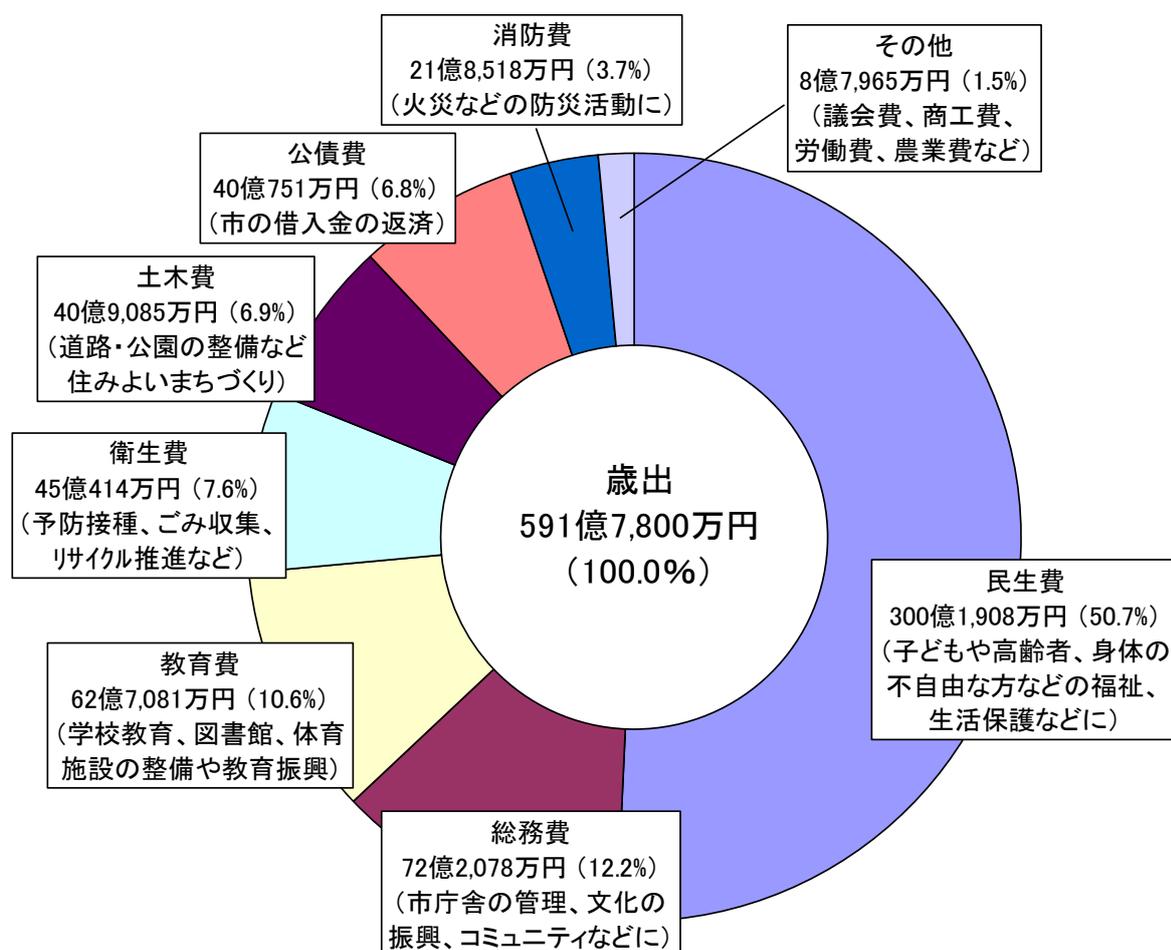
(1) 目的別内訳

市の歳出を、民生費、教育費、土木費、衛生費など目的に応じて区分しています。

歳出予算の目的別内訳

(単位：%)

| 区 分 | 26 年度予算額 | 25 年度予算額 | 増減額 | 増減率 |
|-------|----------------|----------------|---------------|-------|
| 民 生 費 | 300 億 1,908 万円 | 275 億 6,570 万円 | 24 億 5,338 万円 | 8.9 |
| 総 務 費 | 72 億 2,078 万円 | 71 億 6,191 万円 | 5,887 万円 | 0.8 |
| 教 育 費 | 62 億 7,081 万円 | 64 億 6,797 万円 | △1 億 9,716 万円 | △3.0 |
| 衛 生 費 | 45 億 414 万円 | 44 億 7,541 万円 | 2,873 万円 | 0.6 |
| 土 木 費 | 40 億 9,085 万円 | 45 億 7,881 万円 | △4 億 8,796 万円 | △10.7 |
| 公 債 費 | 40 億 751 万円 | 44 億 5,713 万円 | △4 億 4,962 万円 | △10.1 |
| 消 防 費 | 21 億 8,518 万円 | 21 億 4,350 万円 | 4,168 万円 | 1.9 |
| そ の 他 | 8 億 7,965 万円 | 9 億 2,906 万円 | △4,941 万円 | △ 5.3 |
| 合 計 | 591 億 7,800 万円 | 577 億 7,949 万円 | 13 億 9,851 万円 | 2.4 |



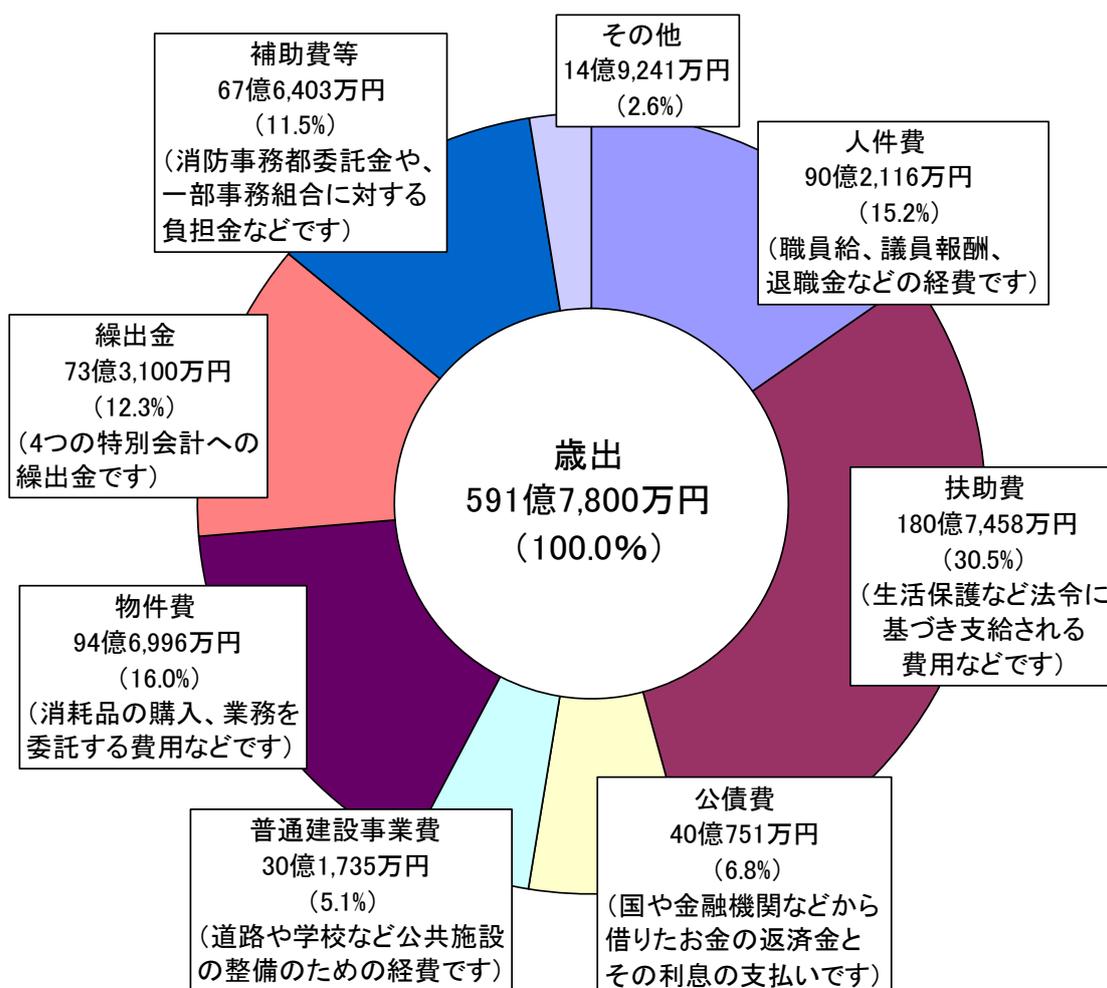
目的別区分の主な事業内容及び予算額

| | |
|------------------------|------------|
| ①民生費 | |
| 生活保護費等 | 60億5,131万円 |
| 児童手当 | 28億5,510万円 |
| 民間保育園保育実施等委託 | 24億8,874万円 |
| 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金事業 | 6億6,626万円 |
| 小川西保育園の建替え | 4億9,033万円 |
| 私立保育園園舎建築補助 | 2億3,590万円 |
| 特別会計（国保・後期高齢・介護）繰出金 | 59億6,100万円 |
| ②総務費 | |
| 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の推進 | 1億4,160万円 |
| 市民文化会館の施設整備 | 9,850万円 |
| 防災行政無線（固定系）の改修 | 6,358万円 |
| 被災者用備蓄の整備 | 5,500万円 |
| ③教育費 | |
| 仲町公民館・図書館の整備 | 7億2,972万円 |
| 学校施設の整備 | 2億5,529万円 |
| 学校体育館の防災機能強化 | 1億4,081万円 |
| 小学校給食業務の委託化 | 6,945万円 |
| 放課後子ども教室の拡充 | 3,217万円 |
| ④衛生費 | |
| 太陽光発電設備モニター助成 | 2,015万円 |
| 資源化品目の拡大によるリサイクルの推進 | 1,130万円 |
| 食物資源循環モデル事業の実施 | 1,049万円 |
| ⑤土木費 | |
| 道路整備事業の充実 | 4億2,557万円 |
| 小平都市計画道路3・4・23号線の整備 | 1億7,894万円 |
| 上水新町一丁目保存樹林地の取得 | 1億2,537万円 |
| 市内公共交通の充実 | 4,073万円 |
| 道路ストック（道路・案内標識）の総点検 | 3,233万円 |
| 魅力ある公園づくりの推進 | 2,300万円 |
| 特別会計（下水道）繰出金 | 13億7,000万円 |
| ⑥公債費 | |
| 償還元金 | 36億3,923万円 |
| 償還利子 | 3億6,828万円 |
| ⑦消防費 | |
| 消防事務都委託 | 20億4,353万円 |
| 消防ポンプ自動車の購入 | 2,247万円 |
| 防火水槽の設置 | 1,325万円 |

(2) 性質別内訳

(単位：%)

| 区 分 | 26 年度予算額 | 25 年度予算額 | 増減額 | 増減率 |
|---------|----------------|----------------|---------------|-------|
| 義務的経費 | 311 億 325 万円 | 305 億 9,819 万円 | 5 億 506 万円 | 1.7 |
| 人 件 費 | 90 億 2,116 万円 | 90 億 8,222 万円 | △6,106 万円 | △0.7 |
| 扶 助 費 | 180 億 7,458 万円 | 170 億 5,883 万円 | 10 億 1,575 万円 | 6.0 |
| 公 債 費 | 40 億 751 万円 | 44 億 5,714 万円 | △4 億 4,963 万円 | △10.1 |
| 普通建設事業費 | 30 億 1,735 万円 | 33 億 915 万円 | △2 億 9,180 万円 | △8.8 |
| その他の経費 | 250 億 5,740 万円 | 238 億 7,215 万円 | 11 億 8,525 万円 | 5.0 |
| 物 件 費 | 94 億 6,996 万円 | 90 億 5,085 万円 | 4 億 1,911 万円 | 4.6 |
| 繰 出 金 | 73 億 3,100 万円 | 73 億 7,500 万円 | △4,400 万円 | △0.6 |
| 補 助 費 等 | 67 億 6,403 万円 | 60 億 5,808 万円 | 7 億 595 万円 | 11.7 |
| そ の 他 | 14 億 9,241 万円 | 13 億 8,822 万円 | 1 億 419 万円 | 7.5 |
| 合 計 | 591 億 7,800 万円 | 577 億 7,949 万円 | 13 億 9,851 万円 | 2.4 |



市の歳出を、人件費、扶助費、物件費など性質に応じて区分しています。性質別に分類することにより、例えば義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が多いほど他の経費に使えるお金が少なくなるなど、市の財政状況を知ることができます。

- ①人件費は、職員給料や選挙関係手当の減などにより、0.7%の減となりました。
- ②扶助費は、保育実施委託（民間保育園）や障害者自立支援給付費の増などにより、約10億円、6.0%の増となりました。
- ③公債費は、償還元金・利子ともに減となり、10.1%の減となりました。
- ④普通建設事業費は、小学校空調設備設置工事の完了などにより約2億9千万円、8.8%の減となりました。
- ⑤物件費は、被災者用備蓄品の購入や小学校給食調理業務の委託化の実施などにより、4.6%の増となりました。
- ⑥繰出金は、下水道事業特別会計が減となったことなどから、0.6%の減となりました。
- ⑦補助費等は、臨時福祉給付金事業・子育て世帯臨時特例給付金事業の実施などにより、約7億円、11.7%の増となりました。



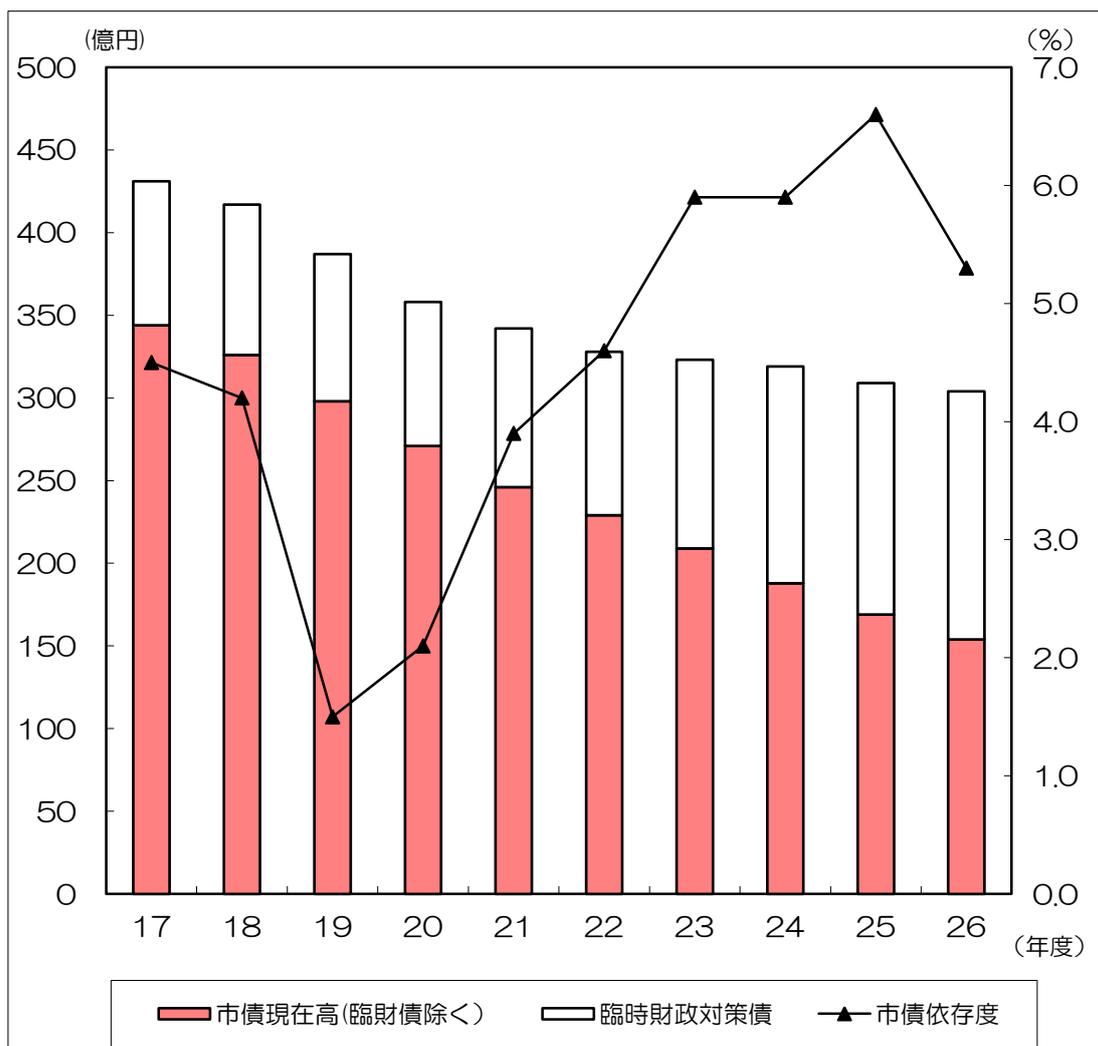
平成 25 年 11 月に小平南東部地域ルートでコミュニティタクシーの実証実験運行を開始

4 小平市の財政状況

(1) 市債の推移

① 一般会計

- 市債現在高は年々減少しており、平成26年度も借入見込額よりも償還見込額が大きいため、平成25年度末市債現在高見込額よりも5億円減少します。
- 市債依存度（歳入に占める市債の割合）は、平成25年度よりも1.3ポイント下降します。



(単位：億円・%)

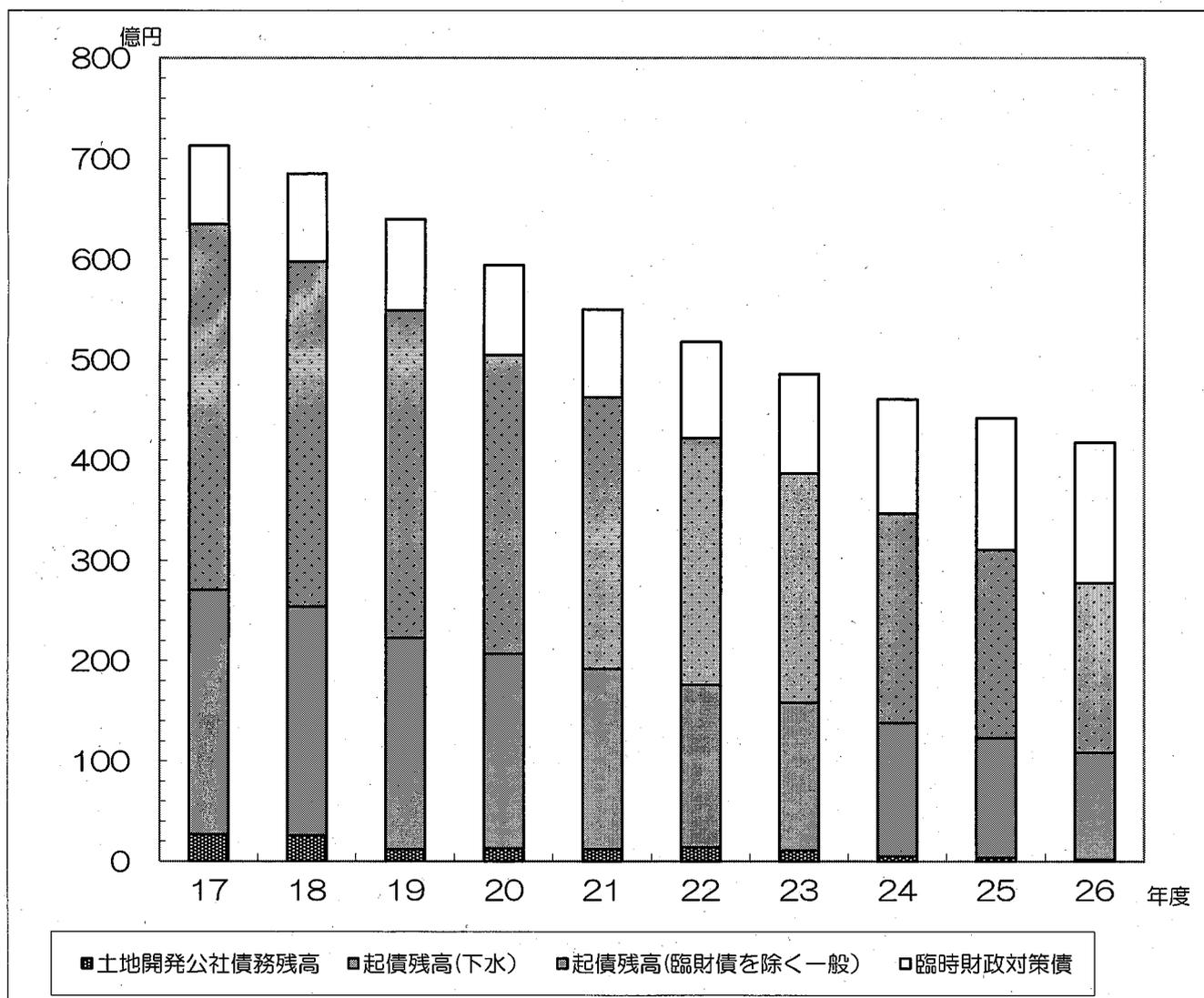
| 年 度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 市債依存度 | 4.5 | 4.2 | 1.5 | 2.1 | 3.9 | 4.6 | 5.9 | 5.9 | 6.6 | 5.3 |
| 市債現在高 | 431 | 418 | 387 | 358 | 342 | 328 | 323 | 319 | 309 | 304 |
| うち臨時財政対策債 | 87 | 91 | 89 | 87 | 96 | 99 | 114 | 131 | 140 | 150 |

※平成17年度から平成24年度は年度末現在高、平成25年度・平成26年度は年度末現在高見込額

(参考) 平成26年度起債依存度 国:43.0%、東京都:6.6%、地方財政対策:12.7%

② 市全体の債務の推移

- 一般会計及び下水道事業特別会計の起債残高は減少しており、市全体の債務は減少しています。
- 近年、赤字債である臨時財政対策債の残高の占める割合が大きくなっています。



(単位：億円・%)

| 年 度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 起債残高(一般) | 431 | 418 | 387 | 358 | 342 | 328 | 323 | 319 | 309 | 304 | |
| うち臨時財政対策債 | 87 | 91 | 89 | 87 | 96 | 99 | 114 | 131 | 140 | 150 | |
| 起債残高(下水) | 228 | 211 | 194 | 180 | 162 | 147 | 133 | 119 | 107 | 97 | |
| 土地開発公社債務残高 | 26 | 12 | 13 | 12 | 14 | 11 | 5 | 4 | 2 | 5 | |
| 債務残高合計 | 685 | 641 | 594 | 550 | 518 | 486 | 461 | 442 | 418 | 406 | |
| 対前年度増減 | | △ 3.8 | △ 6.4 | △ 7.3 | △ 7.4 | △ 5.8 | △ 6.2 | △ 5.1 | △ 4.1 | △ 5.4 | △ 2.9 |

※平成17年度から平成24年度は年度末現在高、平成25年度・平成26年度は年度末現在高見込額

(2) 基金の推移

市では毎年度、基金（市の貯金）を積み立てています。

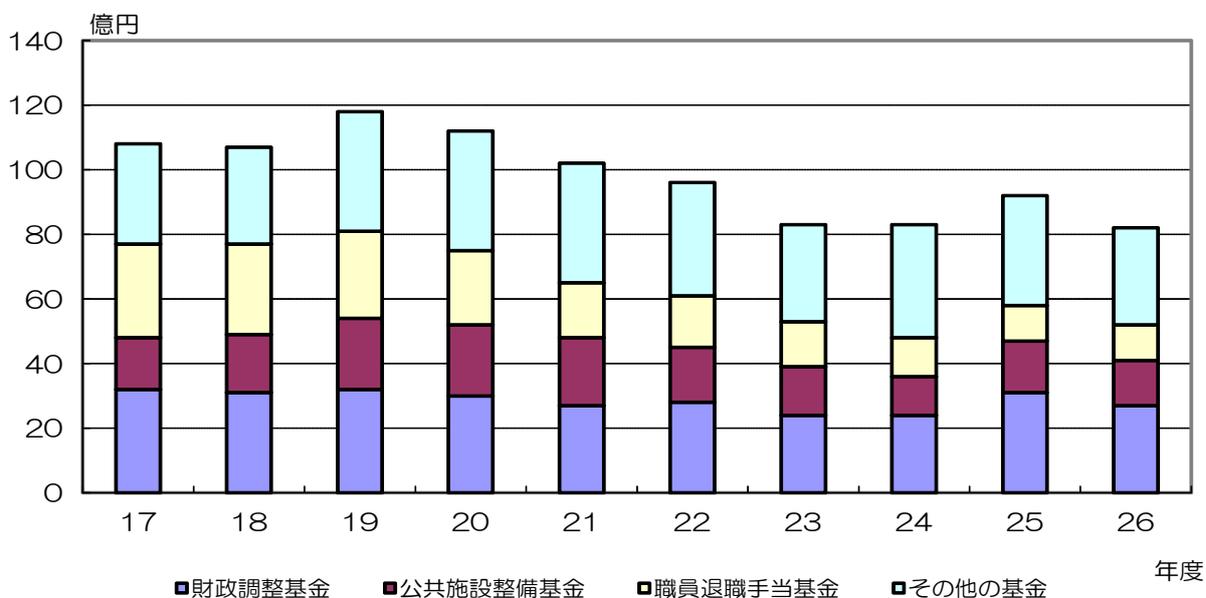
基金残高は、平成 17 年度から平成 21 年度までは、総額で 100 億円を超えていましたが、平成 22 年度は 96 億円、平成 23 年度及び平成 24 年度は 83 億円、平成 25 年度は 92 億円と持ち直すものの、平成 26 年度は 82 億円となり減少傾向にあります。

安定的、計画的な財政運営を図るため、基金残高の目標を財政調整基金は 30 億円、公共施設整備基金は 20 億円と定め、積み立てをしています。財政調整基金については、平成 25 年度に基金残高 31 億円となり、一時的に目標達成するものの、平成 26 年度には 27 億円となり、目標達成は難しい状況です。

また、職員退職手当基金は、職員の給料総額の 10%の積み立てを行っており、定年退職のピーク時にも対応できるようにしています。

なお、平成 26 年度の市民一人当たりの基金（貯金）の金額は、約 4 万円となります。

基金の推移



(単位：億円・%)

| 年 度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
|----------|-----|-------|------|-------|-------|-------|--------|-----|------|--------|
| 財政調整基金 | 32 | 31 | 32 | 30 | 27 | 28 | 24 | 24 | 31 | 27 |
| 公共施設整備基金 | 16 | 18 | 22 | 22 | 21 | 17 | 15 | 12 | 16 | 14 |
| 職員退職手当基金 | 29 | 28 | 27 | 23 | 17 | 16 | 14 | 12 | 11 | 11 |
| その他の基金 | 31 | 30 | 37 | 37 | 37 | 35 | 30 | 35 | 34 | 30 |
| 基金残高合計 | 108 | 107 | 118 | 112 | 102 | 96 | 83 | 83 | 92 | 82 |
| 対前年度増減 | 2.9 | △ 0.9 | 10.3 | △ 5.1 | △ 8.9 | △ 5.9 | △ 13.5 | 0.0 | 10.8 | △ 10.9 |

※平成17年度から平成24年度は年度末残高額、平成25年度・平成26年度は年度末残高見込額

(3) 財政指標

財政指標とは、市の財政運営が健全かどうかを表す指数です。

主な財政指標として、経常収支比率・財政力指数・実質公債費比率などがあります。

経常収支比率とは、財政構造の弾力性を判断するための比率で、人件費・扶助費・公債費等の経常経費に、地方税・地方交付税・地方譲与税などの経常一般財源や臨時財政対策債などが、どれくらい充てられているかを見る指標です。この数値が低いほど、財政構造に弾力性があることとなります。市においては70~80%を超えると、普通建設事業等の臨時的な経費に充てることが難しくなることから、財政構造の弾力性が失われつつあるとされています。小平市では、平成12年度以降90%を超えていますので、財政構造の硬直化が進んでいるといえます。今後も扶助費や繰出金など経常的経費の増が見込まれるため、大きく好転するのは難しい状況です。

財政力指数とは、地方公共団体の財政力の強弱を表す数値で、「基準財政収入額/基準財政需要額」により算定されます。その数値が大きいほど財政力が強いとみることができ、単年度で1を超える団体は普通交付税の不交付団体となります。平成22年度に、小平市は財政力指数が1を下回ったため、普通交付税の交付団体となりました。平成23年度以降も、税収の落ち込みや、扶助費の増などにより、財政力指数は1を下回っており、平成26年度も引き続き交付団体となる見込みです。

実質公債費比率とは、公債費比率に、下水道など公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金、一部事務組合等の公債費などの経費を合わせたものであり、民間企業における連結決算に相当する比率です。平成19年度決算から導入された健全化判断比率の1つで、25%を超えると健全化団体等へ移行しますが、小平市は基準を大きく下回っています。

(単位：%)

| 年 度 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
|---------|------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 経常収支比率 | 93.5 | 92.7 | 96.3 | 96.7 | 97.2 | 92.7 | 91.2 | 96.2 | 95.1 |
| | 96.2 | 93.6 | 97.3 | 101.4 | 100.4 | 98.9 | 98.1 | 103.5 | 100.4 |
| 財政力指数 | 1.029 | 1.055 | 1.073 | 1.070 | 1.030 | 0.976 | 0.936 | 0.938 | 0.948 |
| | 1.065 | 1.065 | 1.090 | 1.056 | 0.945 | 0.927 | 0.935 | 0.951 | 0.958 |
| 実質公債費比率 | 注1 12.3 | 注2 4.7 | 4.0 | 3.3 | 2.8 | 3.1 | 3.2 | 2.6 | 2.4 |

※平成24年度以前は決算数値、平成25年度財政力指数は決定数値、その他は2号補正予算後の数値

※経常収支比率は、上段：経常一般財源に減税補てん債及び臨時財政対策債を含めて算出した数値

下段：経常一般財源から減税補てん債及び臨時財政対策債を除いて算出した数値

※財政力指数は、上段：当該年度を含む過去3年間の平均値

下段：単年度

※実質公債費比率は、当該年度を含む過去3年間の平均値

注1：算出方法の変更（昭和病院組合への負担金のうち、公債費に充てられた部分を算入）あり

注2：算出方法の変更（都市計画税のうち、都市計画事業の公債費に充てることができる部分を算入）あり

(4) 小平市の家計簿

小平市の一般会計予算（平成26年度）を家庭にたとえて家計簿を作りました。

小平家の1年間の収入と支出 総額591.8万円 ・貯金残高 92万円
 ・ローン残高 309万円

| 1年間の収入 | | 1年間の支出 | |
|---------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 市税（給料） | 299.0万円 | 人件費（生活費） | 90.2万円 |
| 各種譲与税、交付金（賞与） | 34.2万円 | 扶助費（学費、年金、医療費） | 180.8万円 |
| 分担金・負担金、使用料及び手数料（アルバイト収入） | 13.7万円 | 公債費（ローン返済金） | 40.1万円 |
| 地方交付税・国・都支出金（実家からの仕送り） | 183.9万円 | 物件費（被服費、消耗品） | 94.7万円 |
| 財産収入（古物売払い） | 0.4万円 | 維持補修費（家の修繕費） | 3.9万円 |
| 繰越金（財布の中身） | 10.0万円 | 補助費等（自治会費） | 67.6万円 |
| 諸収入（株式配当） | 2.9万円 | 積立金（貯金） | 10.0万円 |
| 稼ぎの計 | 544.1万円 | 繰出金（仕送り） | 73.3万円 |
| 繰入金（貯蓄取崩し） | 16.5万円 | 普通建設事業（家具購入） | 30.2万円 |
| 市債（ローン） | 31.2万円 | 予備費（へそくり） | 1.0万円 |
| 収入計 | 591.8万円 | 支出計 | 591.8万円 |

小平家は、給料や実家（国・都）からの仕送りなどにより1年間では544万円の稼ぎがあります。この中には、一定水準の家計のやりくりができないときに実家（国）から仕送りがされるお金（地方交付税）が11万円含まれています。これに対して1年間に使うお金は592万円ですので、稼いだお金だけでは足りません。そこで、貯金の取崩しと銀行からの借入金で不足分の48万円を賄って生活をしています。稼いだお金だけでは生活ができないというのは、とても不安定な状況であるといえます。

小平家では、すでに銀行で309万円のローンを組んでいます。今後、利子を加えて返済することになります。

また、備えや事業資金としての貯金が92万円ありますが、この貯金には使用目的が決められているものが多く、いつでもおろせる預金としては31万円しかありません。

厳しい経済状況のなかにはありますが、昨年と比べて給料や賞与が増えました。実家からの仕送りも増えています。一方、新たな借金は、昨年より減ります。しかし、給料や賞与の伸び、実家からの仕送りも毎年同様が続くとは限らず、今後も苦しい状況は続いていくものと思われま

す。また、支出では医療費や自治会費、老朽化した家の改修費用などが昨年より増えています。さらにローンの返済も払い続けなければなりません。これらの経費は簡単には減らすことができず、貯金を取崩したり、新たなローンを組んで家具を購入するなど、必要なお金を確保しました。

小平家ではここ数年、新たな借金を増やさないように努力してきました。そのため借金の残高は減ってきています。しかし、医療費の伸びなどに対応するために、貯金を取崩してきたため、貯金の残額は減少しています。今年も不足分の一部は、貯金の取崩しで賄っています。

今後さらに医療費が増え、古くなってきた家の改修などにもお金がかかってくるのが予想されますが、給料が大幅に増えることは期待できません。

そのため給料以外の収入を得る方法を考え、節約に努めなければなりません。また、従来から支出してきたものも必要性を根本的に見直すとともに、新たに買うものも本当に必要かどうか見極めて買うようにしていかなければなりません。



特別会計予算について

市が特定の事業を行う場合に、一般の歳入歳出と区分して収支会計を行う会計を「特別会計」といいます。

小平市には、4つの特別会計があります。

1 国民健康保険事業特別会計

予算額は前年度に比べて、6,300万円（0.4%）の増となりました。

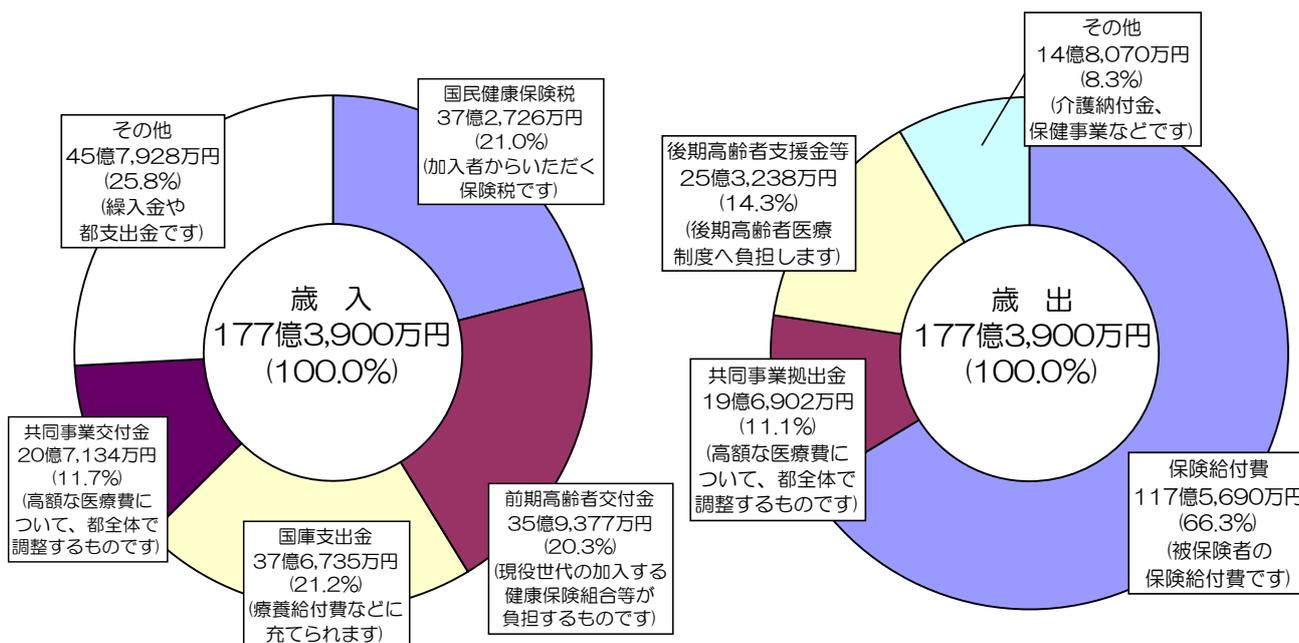
歳出では、予算総額の3分の2を占める保険給付費は、前年度の当初予算に比べて0.4%の減となりましたが、決算見込みと比べると1.4%の増となりました。

歳入では、国民健康保険税は、賦課方式の二方式化^{*}への移行を踏まえた税率で積算しています。被保険者の減が見込まれることなどから、前年度に比べて計上額は減となりました。また、前期高齢者交付金が、前年度と比べて減となることに伴い、国や都からの支出金は増となりましたが、財源不足を補うために一般会計繰入金を前年度と同額の25億円繰り入れたうえで、国民健康保険事業運営基金を1億3,000万円取り崩し、収支の均衡を図るものとなりました。

なお、前年度に比べ、平均被保険者数は500人の減、平均世帯数は30世帯の微減を見込んでの予算編成となっています。

※賦課方式の二方式化

平成26年度から平成28年度の3年をかけて、小平市の国民健康保険税（医療保険分）の賦課方式を、所得割額・資産割額・均等割額・平等割額の四方式から、資産割額・均等割額だけの二方式に変えていくこと。



2 後期高齢者医療特別会計

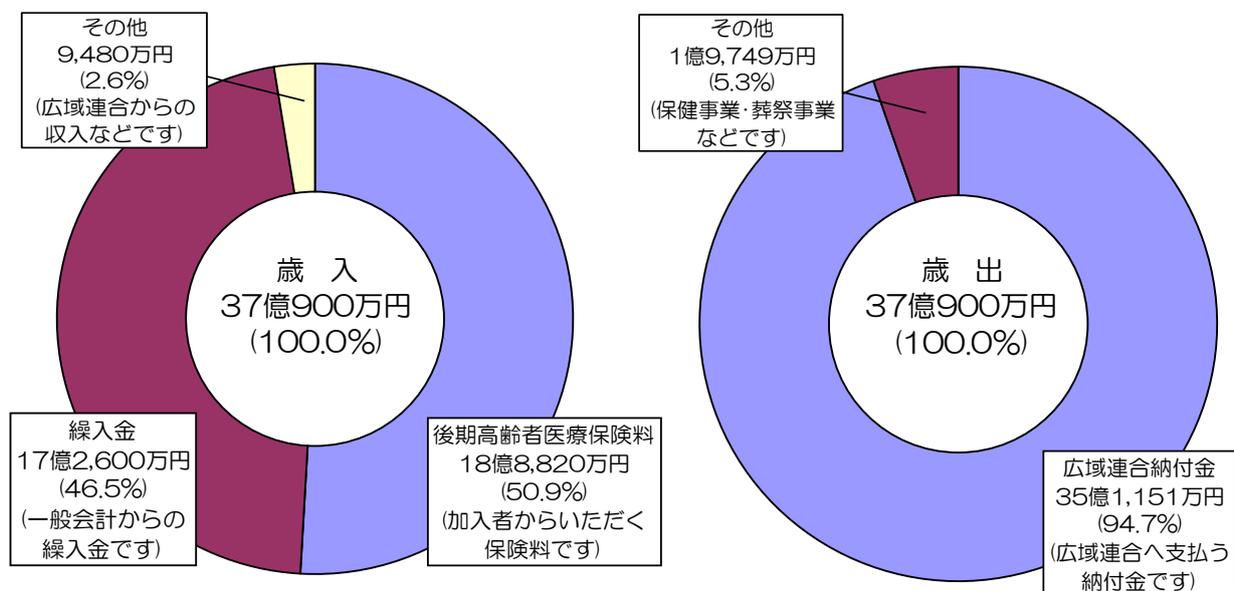
予算額は、前年度に比べ2億5,500万円（7.4%）の増となりました。

歳入は、保険料と繰入金が主なもので、歳出は、東京都後期高齢者医療広域連合へ納付する負担金が主なものとなります。

平成26年度は保険料率の見直しの年で、医療給付費の増などの要因により、均等割額が40,100円から42,200円へ2,100円の増となり、所得割率が8.19%から8.98%へ0.79ポイントの増となりました。

市の独自事業として国民健康保険と同様に、人間ドック利用費補助、保養施設利用費助成事業を実施します。

また、広域連合の委託を受けて健康診査、葬祭費支給事業を実施します。



3 介護保険事業特別会計

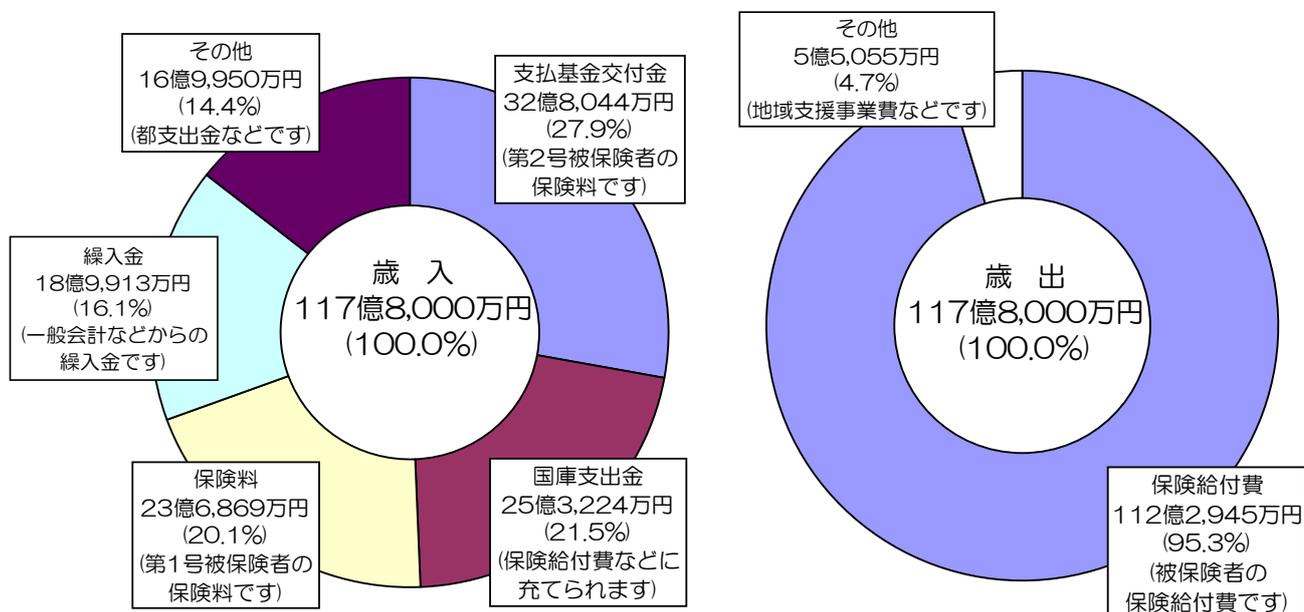
予算額は、前年度に比べ、8億800万円（7.4%）の増となりました。

歳出の95%ほどを占める保険給付費は、要支援・要介護の認定者数の増加や、介護基盤整備の進展が見込まれるため、7.6%の増となっています。

平成26年度は、第5期介護保険事業計画（平成24年度から平成26年度まで）の最終年度であり、引き続き、介護・予防・医療・生活支援サービス・住まいを一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを推進していきます。

地域支援事業では、地域包括支援センターを通じ、介護予防事業への参加勧奨等のための訪問等による実態把握や、関係機関等と連携した認知症等相談会を実施するほか、基幹型の地域包括支援センター中央センターへの人員配置を充実させ、地域連携のさらなる推進を図ります。

なお、平成25年12月末時点の第1号被保険者数は、40,253人で、前年同期（38,910人）に比べ、3.5%の増、要支援・要介護の認定者数は、7,139人で、前年同期（6,591人）に比べ、8.3%の増となっております。



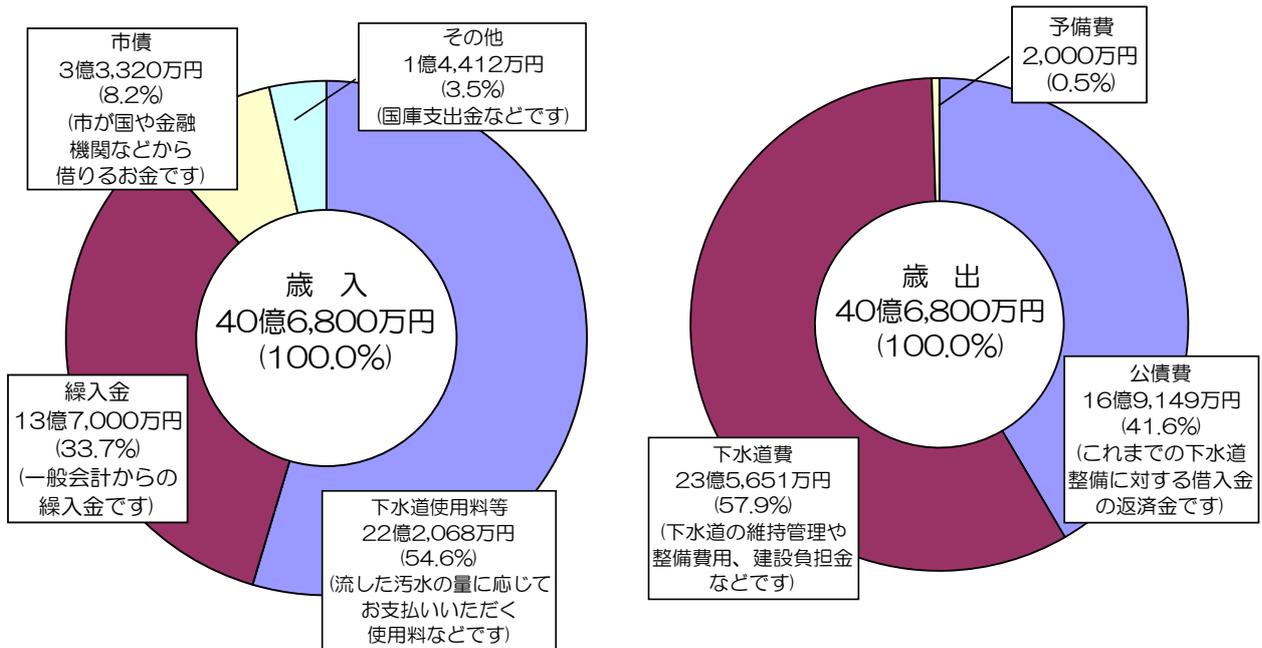
4 下水道事業特別会計

予算額は、前年度に比べて2億2,500万円（5.2%）の減となりました。

歳入は、前年度に比べ、一般会計からの繰入金が2億3,000万円の減となりましたが、使用料及び手数料は、消費税増税分により6,160万円の増となりました。

歳出は、汚水整備事業費や下水道地震対策事業費などが増となりましたが、市債の償還が進んでいるために、公債費が前年度に比べ、2億3,100万円の減となりました。

なお、小平市下水道プラン（計画期間：平成23年度から平成32年度）の重点施策として引き続き「合流式下水道改善対策」、「浸水対策」、「施設の老朽化対策」などの事業を実施していきます。



市役所の組織と連絡先

| 部 局 名 | 電 話 番 号 | 部 局 名 | 電 話 番 号 |
|----------|----------------|------------|----------------|
| 課 名 | | 課 名 | |
| 企画政策部 | | 環境部 | |
| 政策課 | 042 (346) 9503 | ごみ減量対策課 | 042 (346) 9535 |
| (市史編さん) | 042 (341) 2324 | 環境保全課 | 042 (346) 9536 |
| 秘書広報課 | 042 (346) 9505 | 下水道課 | 042 (346) 9559 |
| 行政経営課 | 042 (346) 9756 | 都市開発部 | |
| 総務部 | | まちづくり課 | 042 (346) 9554 |
| 総務課 | 042 (346) 9511 | (都市計画道路) | 042 (346) 9828 |
| 職員課 | 042 (346) 9514 | 地域整備支援課 | 042 (346) 9592 |
| (労務) | 042 (346) 9803 | (公共交通) | 042 (346) 9814 |
| 情報システム課 | 042 (346) 9509 | 都市建設部 | |
| 検査課 | 042 (346) 9516 | みちづくり課 | 042 (346) 9548 |
| 財務部 | | 交通対策課 | 042 (346) 9549 |
| 財政課 | 042 (346) 9504 | たてもの整備課 | 042 (346) 9553 |
| 税務課 | 042 (346) 9521 | 水と緑と公園課 | 042 (346) 9556 |
| 収納課 | 042 (346) 9526 | 会計課 | 042 (346) 9563 |
| 契約管財課 | 042 (346) 9557 | 教育部 | |
| 市民生活部 | | 教育庶務課 | 042 (346) 9568 |
| 市民課 | 042 (346) 9520 | 学務課 | 042 (346) 9570 |
| 地域文化課 | 042 (346) 9532 | 指導課 | 042 (346) 9572 |
| (市民協働) | 042 (346) 9809 | (統括指導主事) | 042 (346) 9572 |
| 産業振興課 | 042 (346) 9533 | 生涯学習推進課 | 042 (346) 9574 |
| 防災安全課 | 042 (346) 9519 | 体育課 | 042 (343) 1611 |
| 次世代育成部 | | 公民館 | 042 (341) 0861 |
| 児童課 | 042 (346) 9821 | 図書館 | 042 (345) 1246 |
| 青少年男女平等課 | 042 (346) 9618 | 議会事務局 | 042 (346) 9566 |
| 保育課 | 042 (346) 9594 | 選挙管理委員会事務局 | 042 (346) 9576 |
| (保育指導) | 042 (346) 9594 | 監査事務局 | 042 (346) 9577 |
| 健康福祉部 | | | |
| 高齢者福祉課 | 042 (346) 9537 | | |
| 介護福祉課 | 042 (346) 9823 | | |
| 障害者福祉課 | 042 (346) 9540 | | |
| 生活福祉課 | 042 (346) 9545 | | |
| 健康課 | 042 (346) 9641 | | |
| 保険年金課 | 042 (346) 9529 | | |

「小平市わかりやすい予算」

平成26年度主要事業・予算概要説明書

平成26年4月発行

編集・発行 小平市財務部財政課

〒187-8701

東京都小平市小川町二丁目1333番地

電話（042）346-9504

電子メール zaisei@city.kodaira.lg.jp

¥100

「コダレンジャー」

左から、
ブルーベリーパープル
丸ポストレッド
グリーンロードグリーン
小平のよいもの、よいところをどんどん
宣伝活躍しています。



「ワルビー」(「悪(ワル)」+「Bee(ビー)」)
スズメバチをモチーフにした、
コダレンジャーの敵役です。
市民ボランティアスタッフが
キャラクターデザイン案を考えました。